

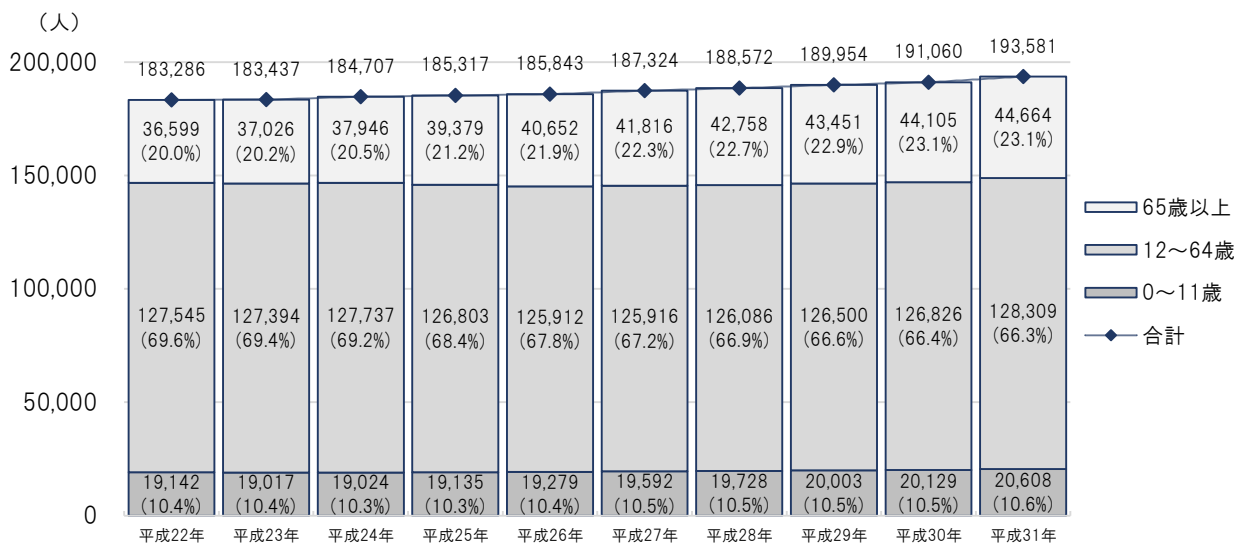
小平市の子どもと家庭を取り巻く現状と課題

1 小平市の状況

(1) 人口・世帯の状況

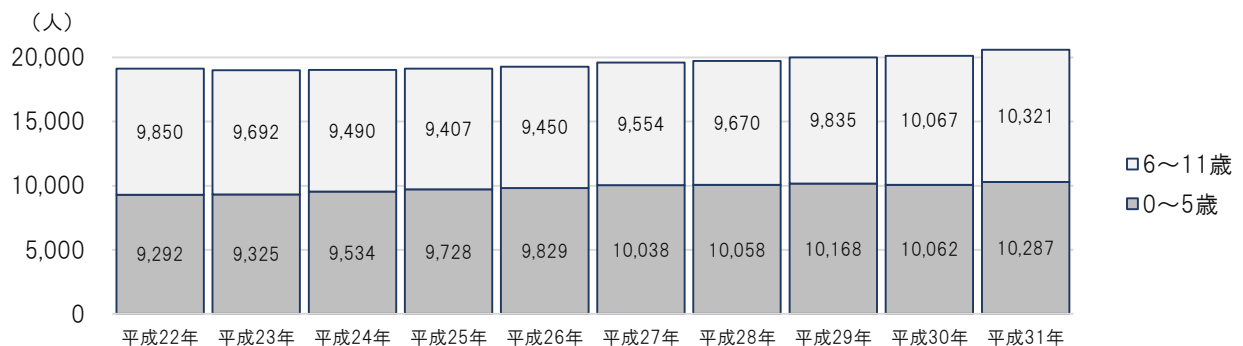
① 人口の推移

小平市の人口は、ゆるやかに増えています。子どもの人口（0～11歳）は、平成23年度までは減少が続いていましたが、平成24年度以降増加傾向にあります。



資料：住民基本台帳、外国人登録（各年度4月1日現在）
 ※百分率の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示。四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合があります。

② 子どもの人口（0～11歳）の推移



資料：住民基本台帳、外国人登録（各年度4月1日現在）

③ 子どもの人口の推計

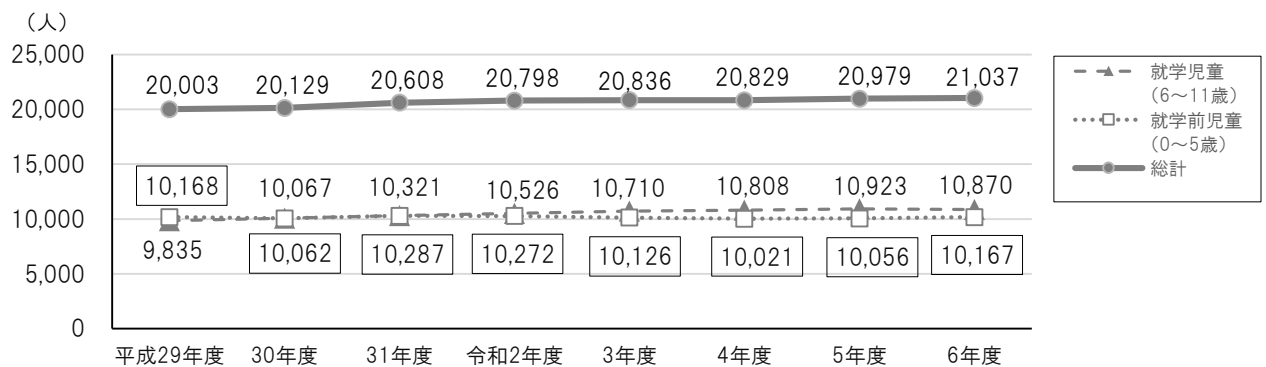
平成26年度～31年度の各年度4月1日現在の住民基本台帳の人口データを用いて、コーホート変化率法^一により将来人口の推計を行いました。0～11歳までの年齢別人口推計は次の表のとおりです。

これまで総人口、0～11歳人口ともに増加傾向にあることから、0～11歳人口は令和2年度に20,798人、令和6年度に21,037人となると推計されます。

■ 子どもの人口の推計 ■

(人)

年齢	平成29年度	30年度	31年度	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
0歳	1,617	1,456	1,610	1,558	1,544	1,557	1,606	1,603
1歳	1,691	1,678	1,611	1,722	1,652	1,638	1,679	1,717
2歳	1,708	1,706	1,750	1,634	1,726	1,656	1,670	1,697
3歳	1,720	1,755	1,755	1,769	1,640	1,733	1,680	1,686
4歳	1,717	1,731	1,795	1,771	1,775	1,645	1,752	1,692
5歳	1,715	1,736	1,766	1,818	1,789	1,792	1,669	1,772
6歳	1,724	1,728	1,779	1,787	1,832	1,802	1,817	1,686
7歳	1,705	1,716	1,753	1,791	1,794	1,839	1,816	1,828
8歳	1,649	1,715	1,735	1,766	1,801	1,805	1,853	1,828
9歳	1,622	1,665	1,729	1,745	1,775	1,811	1,816	1,864
10歳	1,606	1,632	1,688	1,745	1,759	1,789	1,828	1,832
11歳	1,529	1,611	1,637	1,692	1,749	1,762	1,793	1,832
就学児童 (6～11歳)	9,835	10,067	10,321	10,526	10,710	10,808	10,923	10,870
就学前児童 (0～5歳)	10,168	10,062	10,287	10,272	10,126	10,021	10,056	10,167
総計	20,003	20,129	20,608	20,798	20,836	20,829	20,979	21,037



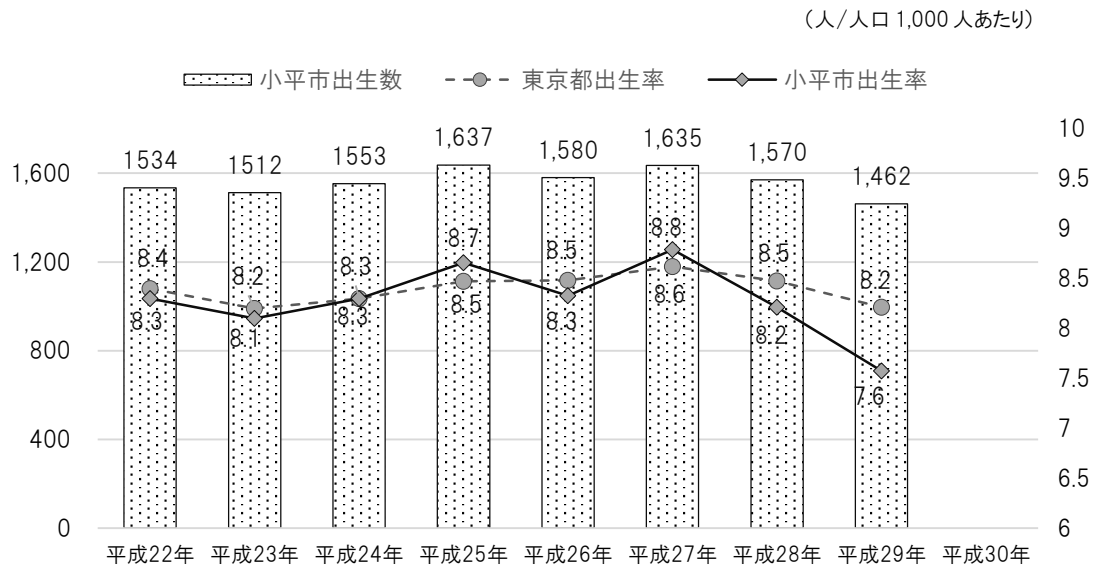
^一 コーホート変化率法

過去における実績人口の動勢から変化率を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

(2) 人口動態の状況

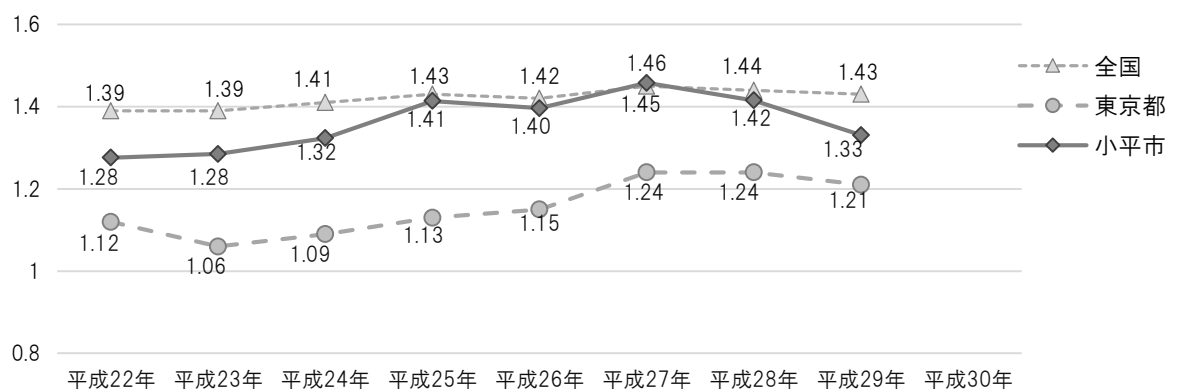
① 出生数・出生率の推移

平成29年は平成28年に比べ100人ほど出生数が減じましたが、予測では令和6年までは、1,600人前後で推移する見込みです。



資料：厚生労働省「人口動態統計」(平成29年)
東京都福祉保健局「人口動態統計」(平成29年)

② 合計特殊出生率^一の推移

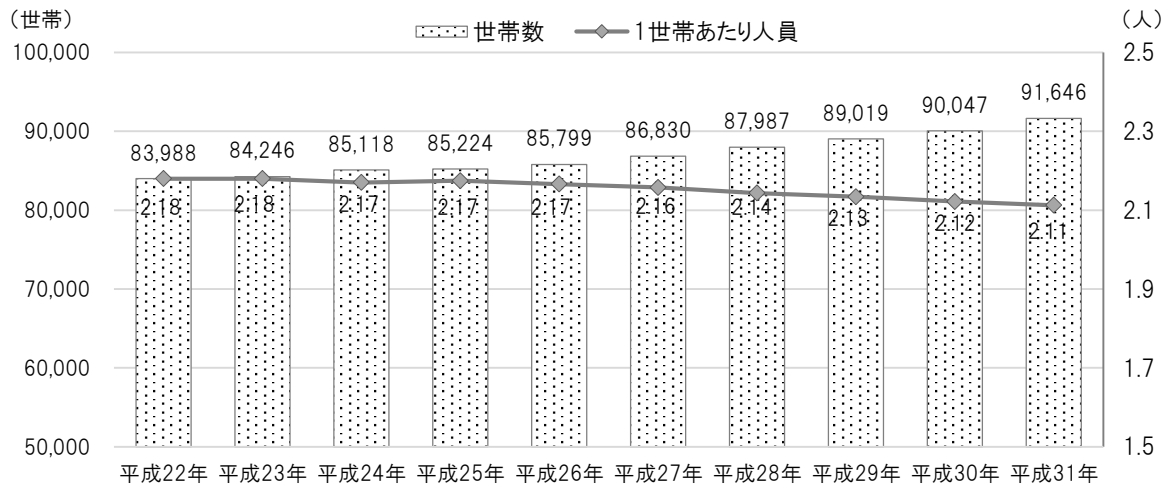


資料：厚生労働省「人口動態統計」(平成29年)
東京都福祉保健局「人口動態統計」(平成29年)

^一 合計特殊出生率 その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。仮に女性がこの年の年齢別出生率にしたがって子どもを出産した場合、生涯に生む平均の子ども数に相当する。

③ 世帯構成の状況

世帯数は増加していますが、1世帯あたりの人員については減少傾向です。特に平成28年以降減少が進み、小平市においても核家族化が進んでいるということがわかります。



資料：住民基本台帳、外国人登録（各年度4月1日現在）

（3）就業の状況

① 就業率の状況

就業率は平成27年は平成22年に比べ男性は小平市、東京都、全国ともに下がっていて、小平市では1.3ポイントの減少です。女性は逆に小平市、全国では増加しており、小平市では1.5ポイント増加しています。

単位：人、%

平成22年

	男 性			女 性		
	15歳以上人口	就業者	就業率	15歳以上人口	就業者	就業率
全国	53,154,614	34,089,629	64.1	57,122,871	25,521,682	44.7
東京都	5,652,734	3,460,120	61.2	5,839,722	2,552,416	43.7
小平市	79,697	48,266	60.6	82,029	33,134	40.4

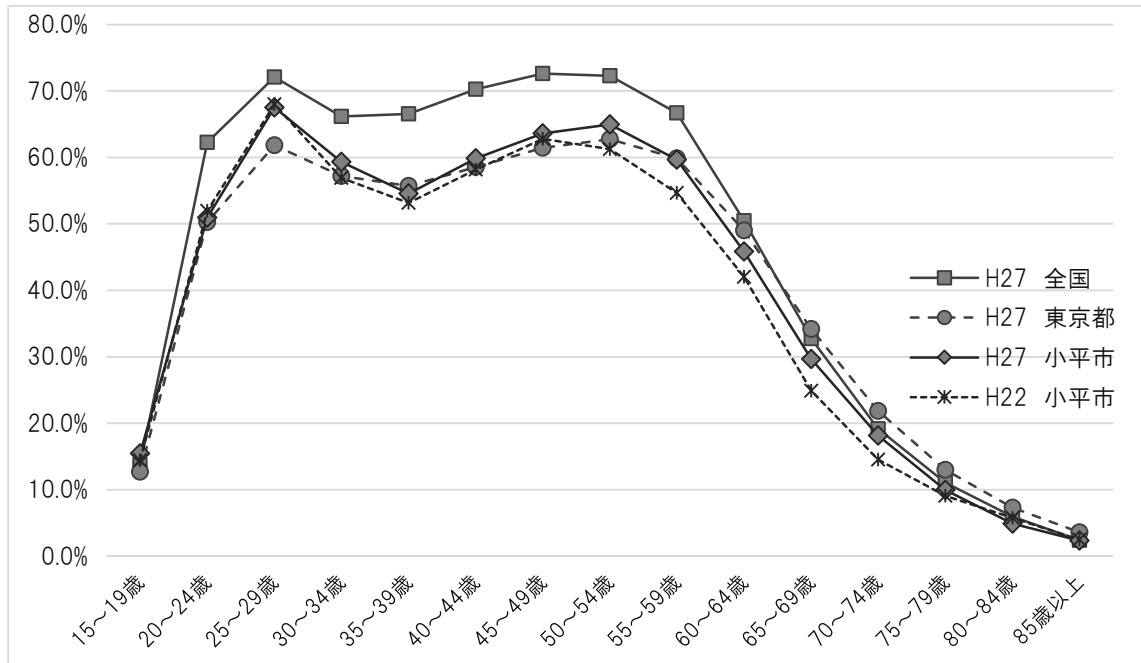
平成27年

	男 性			女 性		
	15歳以上人口	就業者	就業率	15歳以上人口	就業者	就業率
全国	52,879,791	33,077,703	62.6	56,874,386	25,841,333	45.4
東京都	5,749,774	3,291,599	57.2	5,989,897	2,567,360	42.9
小平市	80,284	47,578	59.3	83,901	35,138	41.9

資料：国勢調査（平成22年、平成27年）

② 女性の年齢別労働力率^{→1}の推移

女性の労働力率は、結婚や出産に当たるおおむね30歳代に一旦低下し、子育てが一段落した後に再び就労するという、いわゆるM字カーブを描いています。平成27年の女性の労働力率を見ると、25～29歳は67.5%と70%近くになりますが、30歳代になると下降し、40歳代に再び上昇して50～54歳に第2のピークを迎えます。平成22年は全国や東京都と比べると低い傾向にありましたが、平成27年では20歳代から50歳代までは東京都を上回る傾向です。



	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
H27 全国	13.7%	62.3%	72.1%	66.1%	66.5%	70.3%	72.6%	72.3%
H27 東京都	12.7%	50.3%	61.8%	57.2%	55.7%	58.6%	61.4%	62.7%
H27 小平市	15.4%	50.9%	67.5%	59.3%	54.6%	59.8%	63.6%	65.0%
H22 小平市	14.4%	51.9%	68.0%	56.9%	53.2%	58.1%	62.8%	61.2%
	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
H27 全国	66.7%	50.4%	32.7%	19.2%	11.1%	6.0%	2.4%	
H27 東京都	59.9%	49.0%	34.2%	21.8%	13.0%	7.3%	3.6%	
H27 小平市	59.7%	45.8%	29.6%	18.1%	10.0%	4.9%	2.3%	
H22 小平市	54.6%	42.0%	24.9%	14.5%	9.1%	5.7%	2.5%	

資料：国勢調査(平成22年、平成27年)

^{→1} 労働力率

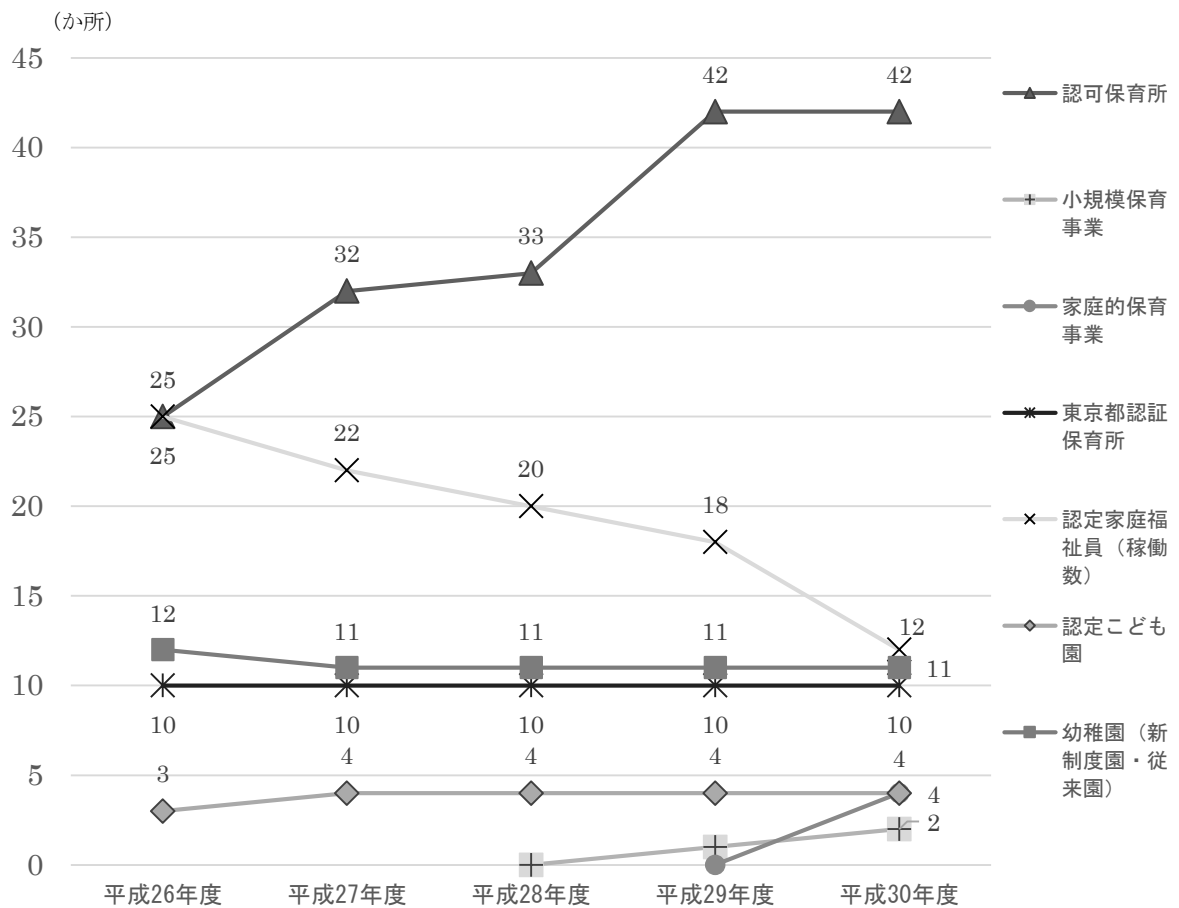
就業者数と完全失業者数（就労を希望している人の数）とを合わせた労働力人口が15歳以上の人口に占める割合。

2 保育・子育て支援の状況

(1) 幼児期の教育・保育施設の状況

① 各事業の施設数

認可保育所⁻¹は、増加傾向にあり、平成26年度に比べ17施設増え、平成30年度には42施設になっています。平成29年度に小規模保育事業が1施設開設、平成30年度には2施設となっています。家庭的保育事業は、平成30年度に4施設が認定家庭福祉員より移行されています。それに伴い、認定家庭福祉員の稼働数は減少しています。



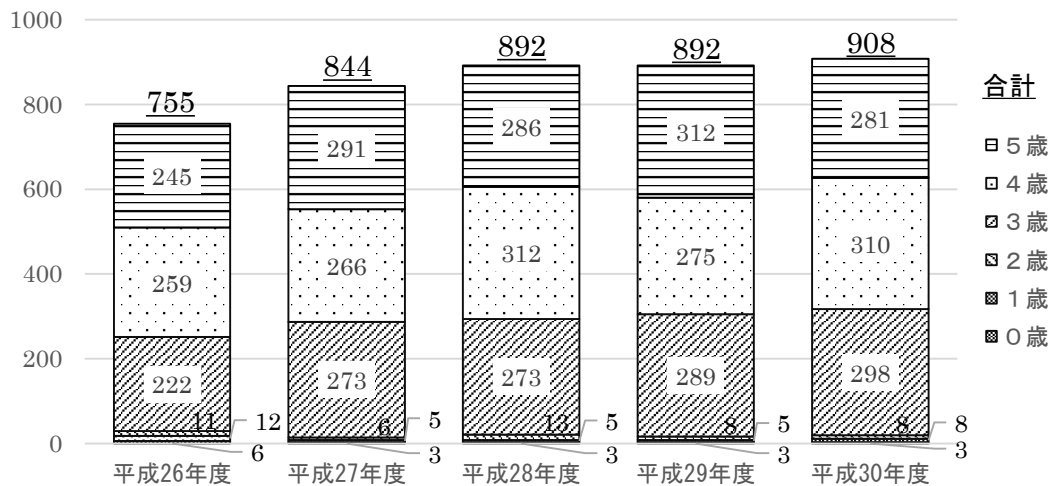
資料: 保育課(各年度4月1日現在)

⁻¹ 認可保育所

国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県の認可を受けたもの。

② 認定こども園^{ー1}の状況

認定こども園は、平成27年度に1施設が幼稚園より移行され、それ以降、利用者は緩やかに増加傾向です。

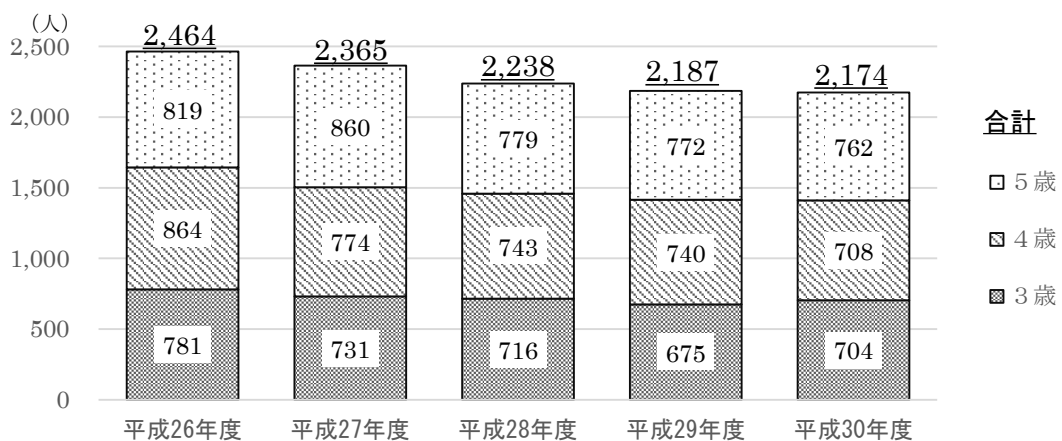


資料: 保育課(平成26年は5月1日、平成27年～30年は各年度4月1日現在)

※ 小平市内、市外の施設を問わず、小平市民の利用者の数

③ 幼稚園(新制度園、従来園)の状況

幼稚園(新制度園、従来園)は平成27年度に1施設が認定こども園に移行され、11施設となりました。平成28年度以降は施設数の増減はありませんが、利用者は緩やかな減少傾向です。



資料: 保育課(各年度5月1日現在)

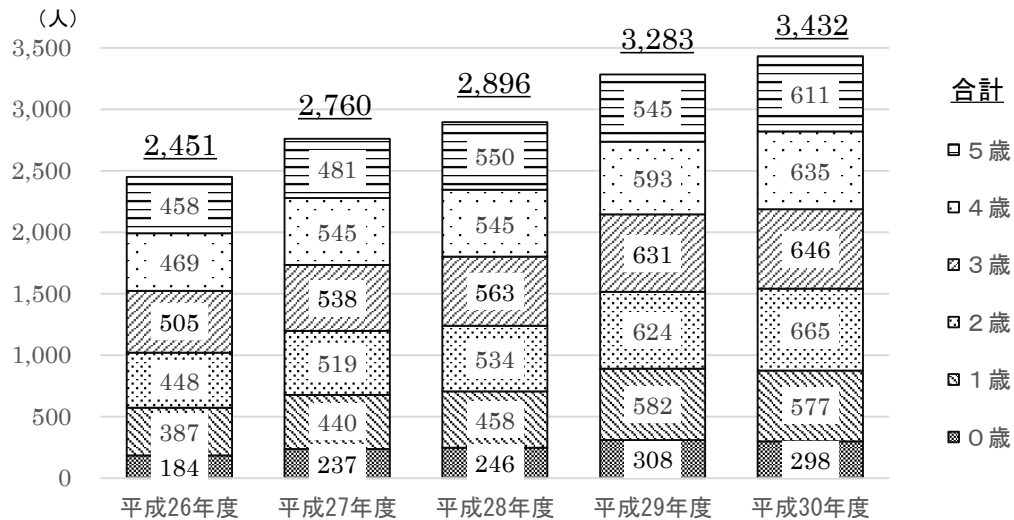
※ 小平市内、市外の施設を問わず、小平市民の利用者の数

^{ー1} 認定こども園

幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。

④ 認可保育所の状況

施設数は、平成26年度に25施設でしたが、平成30年度には42施設となっています。利用者数は、施設数が増加してきたことから、平成26年度に比べ平成30年度は1,000人ほど増えています。0～2歳児の構成比が高まる傾向で、平成30年度は平成26年度に比べ、3.3%高く、44.9%です。

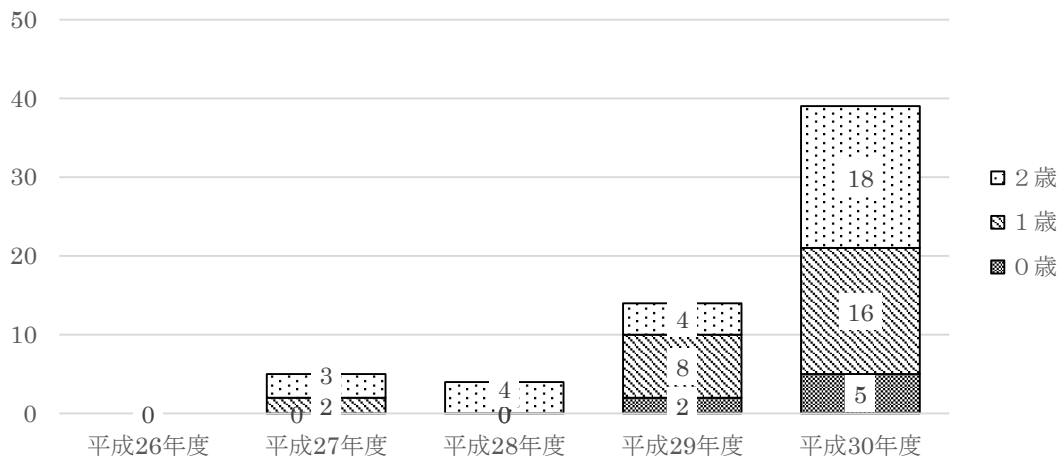


資料：保育課（各年度4月1日現在）

※管外委託を含む。受託を含まない。

⑤ 小規模保育事業

平成27年度開始の子ども・子育て支援新制度により、地域型保育事業（小規模保育事業）が新設されました。市内小規模保育事業所は平成29年度に開設され、平成30年度には40名ほどの利用者がいます。

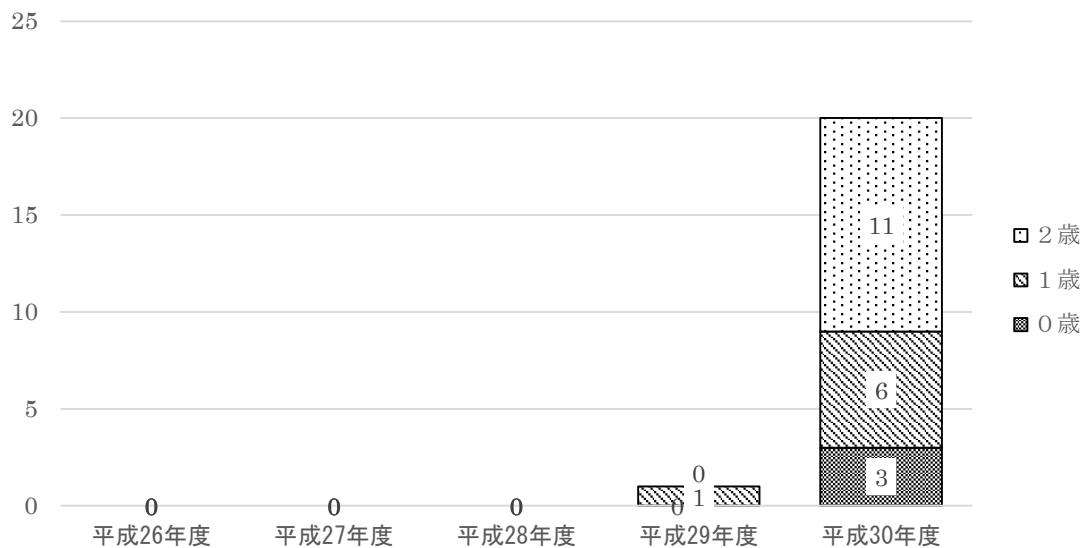


資料：保育課（各年度4月1日現在）

※市内小規模保育事業所はH29開設。H27とH28は管外委託児のみ。

⑥ 家庭的保育事業

平成27年度開始の子ども・子育て支援新制度により、地域型保育事業（家庭的保育事業）が新設されました。市内家庭的保育事業所は平成30年度に開設され、20名ほどの利用者がいます。



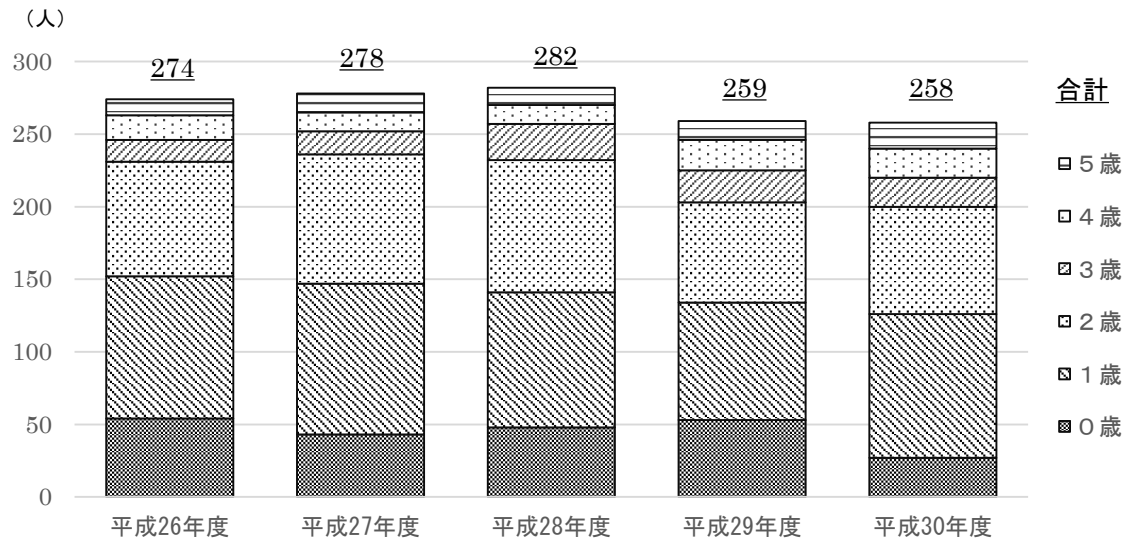
資料：保育課（各年度4月1日現在）

※市内家庭的保育事業所はH30開設。H27とH28は該当児童なし。

H29は管外委託児のみ。

⑦ 東京都認証保育所の状況

平成 29 年度以降、小平市民の利用者数は減少していますが、小平市外民の利用者も含めると施設の利用者数は横ばいです。



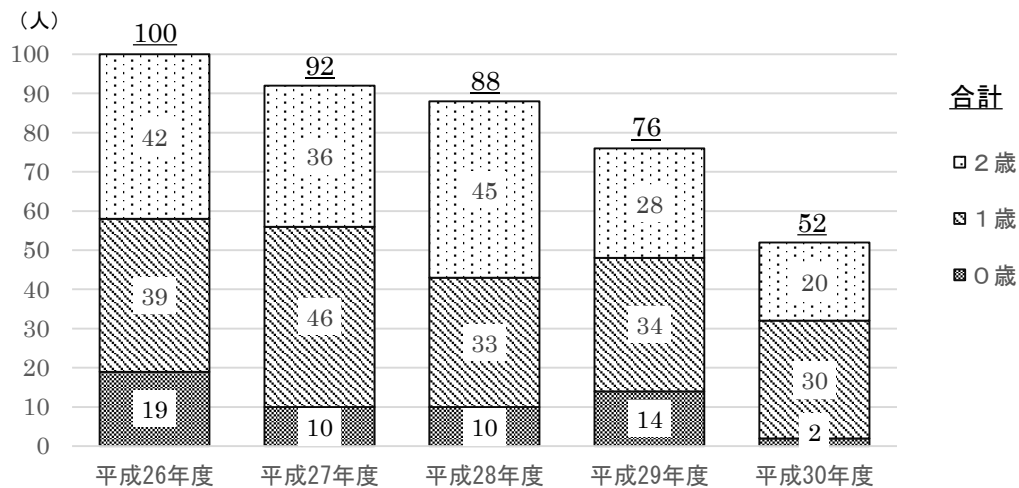
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
5 歳	11 人	13 人	12 人	13 人	18 人
4 歳	17 人	13 人	13 人	21 人	20 人
3 歳	15 人	16 人	25 人	22 人	20 人
2 歳	79 人	89 人	91 人	69 人	74 人
1 歳	98 人	104 人	93 人	81 人	99 人
0 歳	54 人	43 人	48 人	53 人	27 人
合計	274 人	278 人	282 人	259 人	258 人

資料：保育課（各年度 4 月 1 日現在）

※ 小平市内、市外の施設を問わず、
小平市民の利用者の数

⑧ 認定家庭福祉員^{→1}の状況

認定家庭福祉員は、平成27年度開始の子ども・子育て支援新制度により、地域型保育事業（家庭的保育事業）が新設され、認定家庭福祉員は、平成26年度の25人から平成30年度には12人へ減少しています。そのため、利用者数もこの5年間で半減し、52人となっています。



資料：保育課（各年度4月1日現在）

^{→1} 認定家庭福祉員

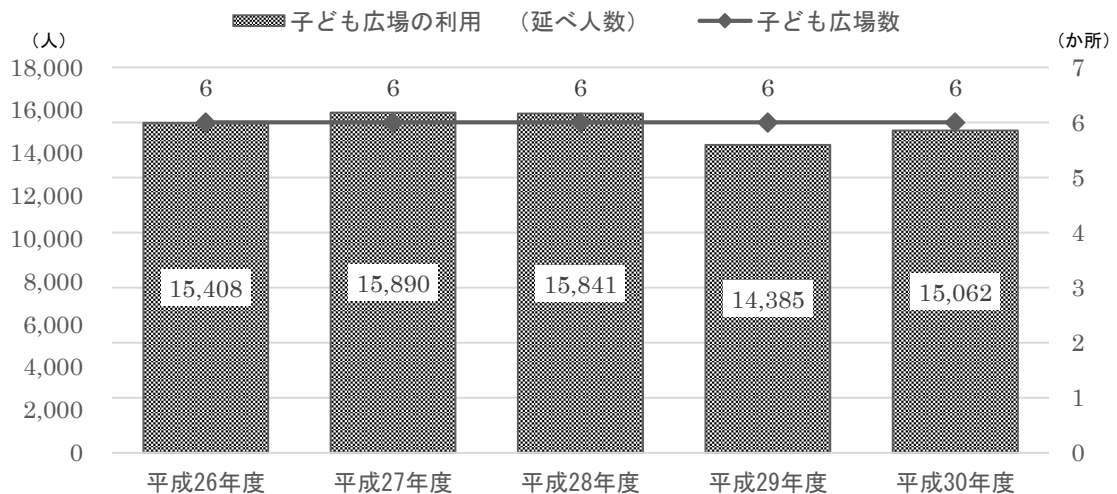
保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業です。いわゆる「保育ママ」。

(2) 子育て支援事業の状況

① 地域子育て支援拠点事業(子ども広場事業)の状況

子ども広場^{→1}は、平成26年度以降、利用者数が15,000人前後で推移しています。

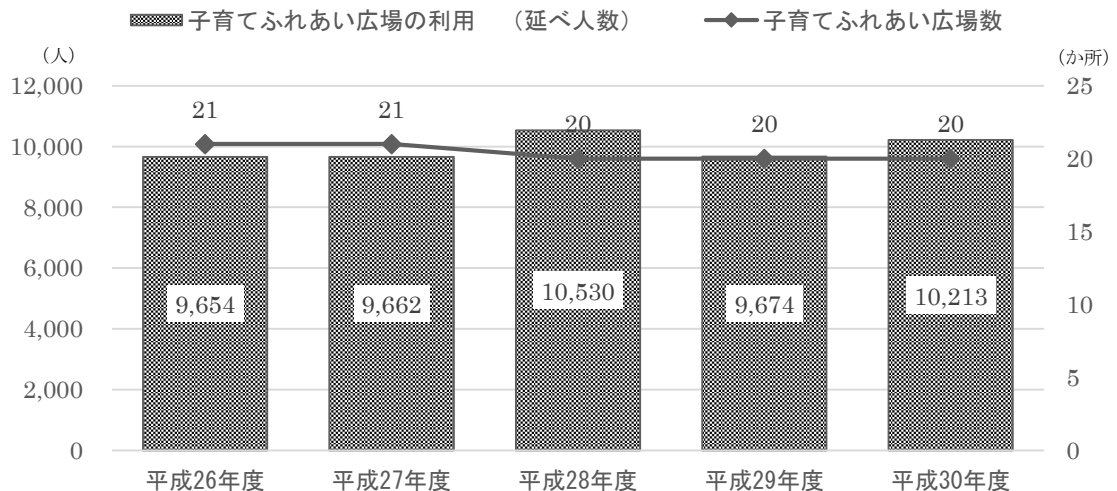
子育てふれあい広場^{→2}は、平成28年度に1か所減少し、計20か所となりましたが、利用者数は10,000人前後で推移しています。



資料: 子育て支援課

※0～2歳の利用者数のみ。

※子育て交流広場^{→3}を除く。



資料: 子育て支援課

※0～2歳の利用者数のみ。

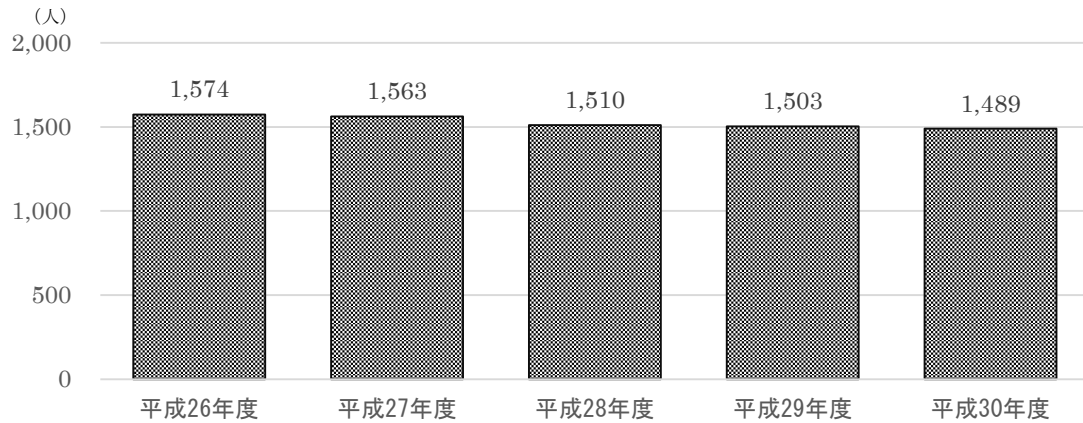
^{→1} 子ども広場 専門のスタッフが子育ての相談、子育て中の保護者の交流、乳幼児から中学生までの子どもの遊びの指導、地域の子育て情報の提供、講習会などを行っています。

^{→2} 子育てふれあい広場 子育て中の親子(乳幼児)を対象にした相談・交流ができる広場です。

^{→3} 子育て交流広場 子育ての相談、季節の行事、ボランティアによる催しなどを行っています。

② 妊婦健康診査事業の状況

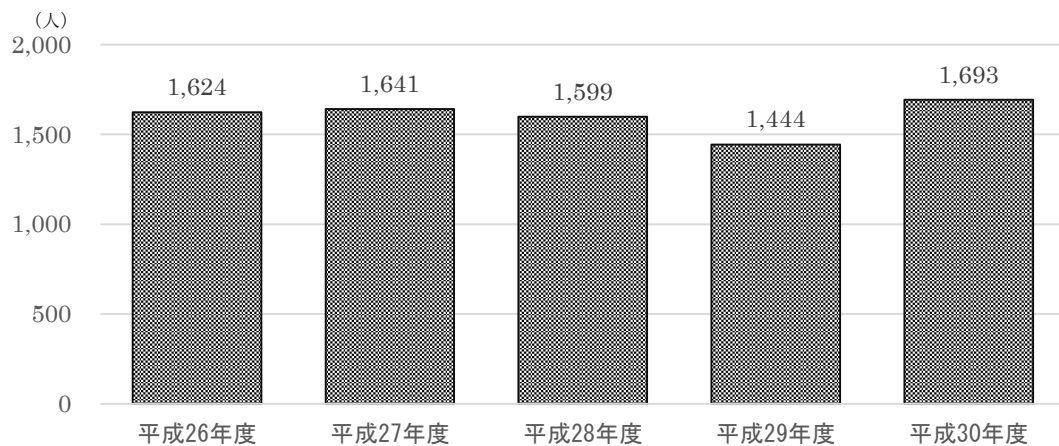
妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持及び促進を図るもので、受診率は妊婦数全体のおおむね **95%**を超える高いものとなっています。



資料：健康推進課

③ 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)の状況

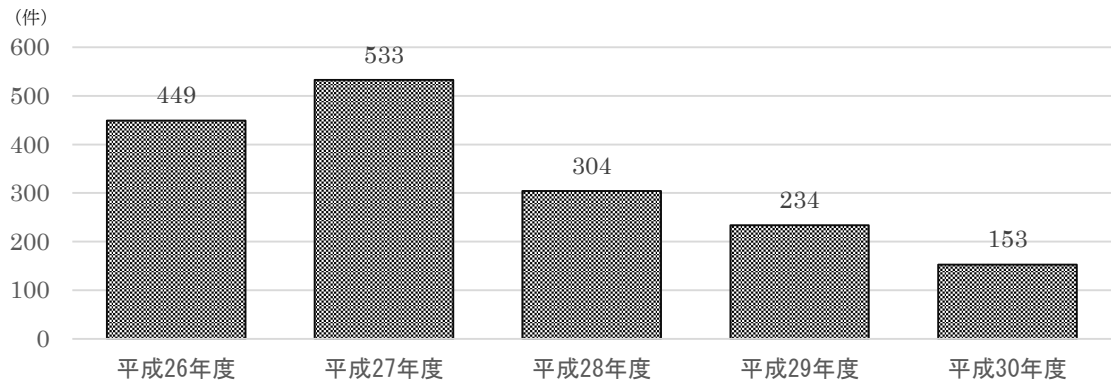
乳児家庭全戸訪問は、子育てを地域ぐるみで支援するために、助産師や保健師が訪問を行っており、生後4か月までの乳児数全体の **96%**を超える家庭へ訪問しています。



資料：健康推進課

④ 養育支援訪問事業の状況

養育支援訪問事業の延べ件数は、平成27年度以降、減少しています。

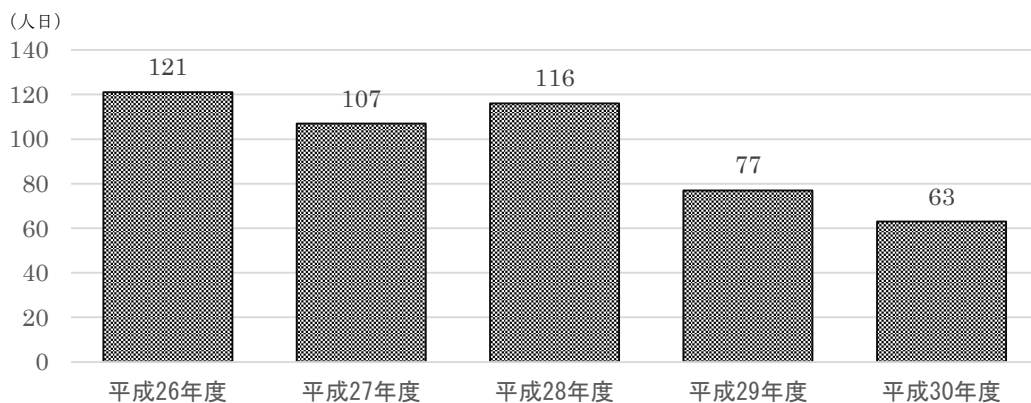


資料：子育て支援課

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
育児・家事援助	246 人	135 人	131 人	63 人	153 人
専門的相談支援	203 人	398 人	173 人	171 人	22 人
合計	449 人	533 人	304 人	234 人	153 人

⑤ 子育て短期支援事業(子どもショートステイ事業)の状況

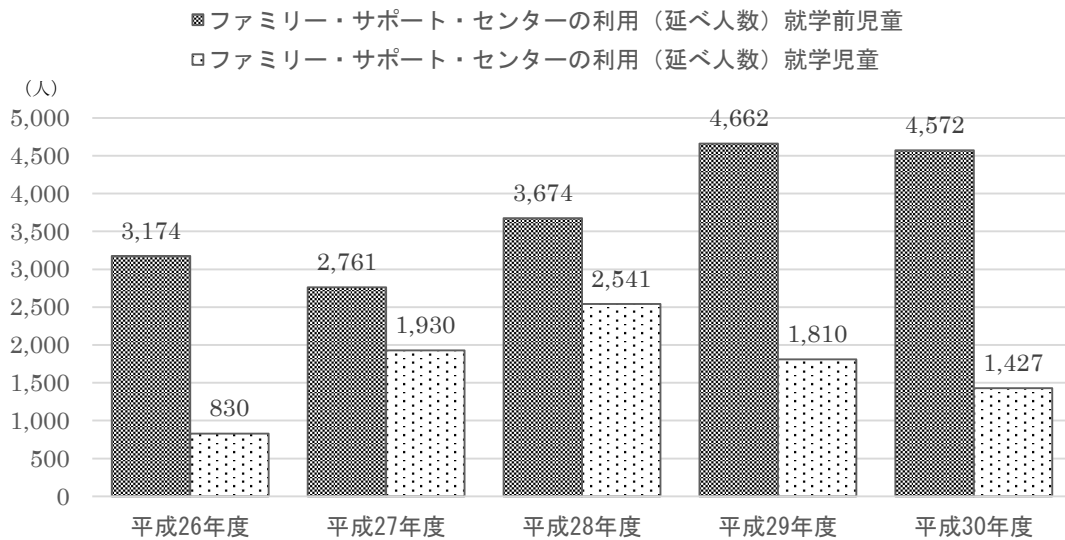
子どもショートステイ事業の延べ利用者数は、平成28年度以降減少しています。



資料：子育て支援課

⑥ 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)の状況

ファミリー・サポート・センターの就学前児童の利用は、平成26年度から平成30年度までで、利用者数は1.4倍ほど増えています。就学児童の利用は、平成28年度以降減少しています。

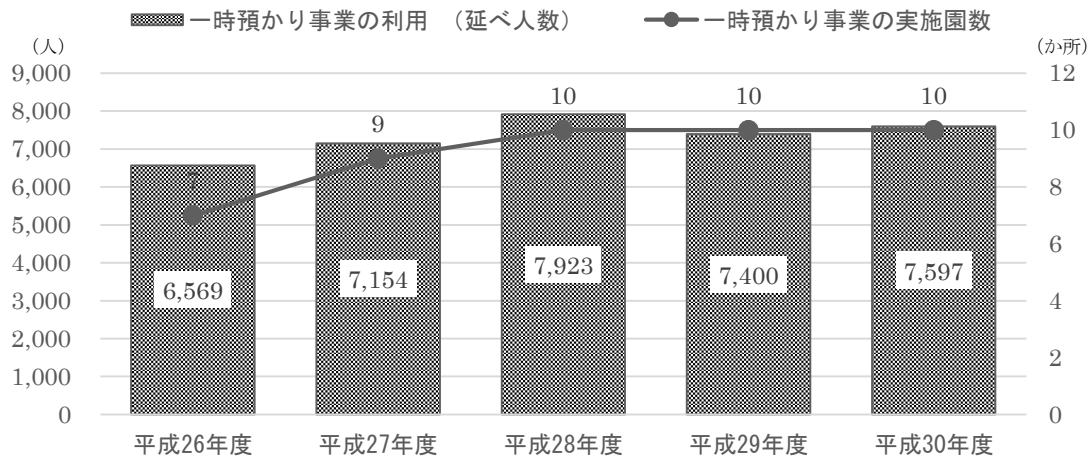


資料：子育て支援課

利用(延べ人数)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
就学前児童	3,174 人	2,761 人	3,674 人	4,662 人	4,572 人
就学児童	830 人	1,930 人	2,541 人	1,810 人	1,427 人
合計	4,004 人	4,691 人	6,215 人	6,472 人	5,999 人

⑦ 一時預かり事業の状況

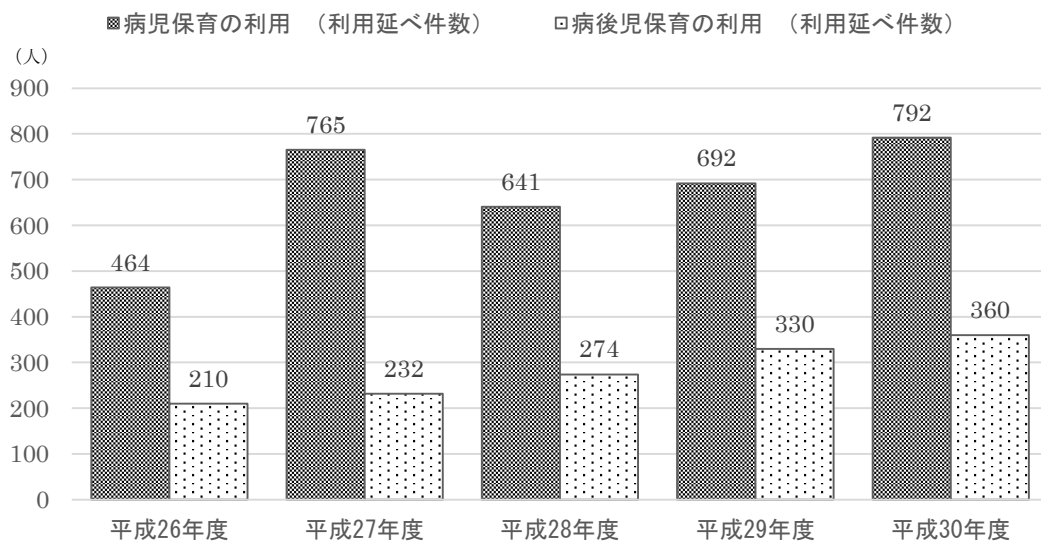
保育園における一時預かりの状況です。施設数は平成26年度から平成28年度までに3か所増え10か所となりました。利用者数も増えていましたが、平成28年度以降は施設数、利用者数ともに横ばいで推移しています。



資料：保育課

⑧ 病児・病後児保育事業の状況

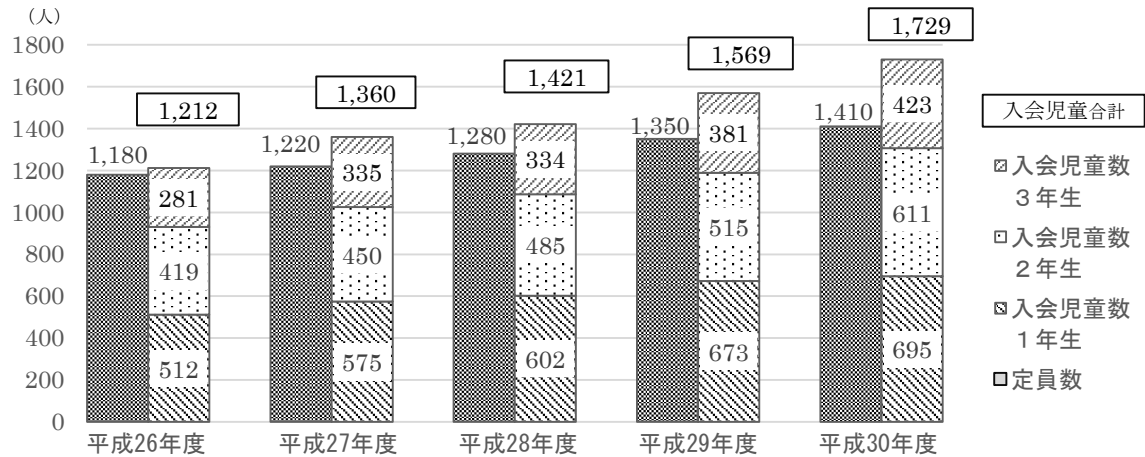
平成26年7月までは、病児・病後児保育1施設、病後児保育1施設でしたが、利用者の増加に伴い、平成26年8月に、病後児保育を実施していた施設で、病児保育も開始し、病児・病後児保育が2施設となりました。病児保育の利用者数は、平成27年度以降横ばい傾向で、病後児保育の利用者は、毎年増加傾向にあります。



資料：保育課

⑨ 放課後児童健全育成事業(学童クラブ事業)の状況

学童クラブの入会児童数は、毎年増加傾向にあります。施設数は、平成28年度以降毎年増加し、33施設になりました。

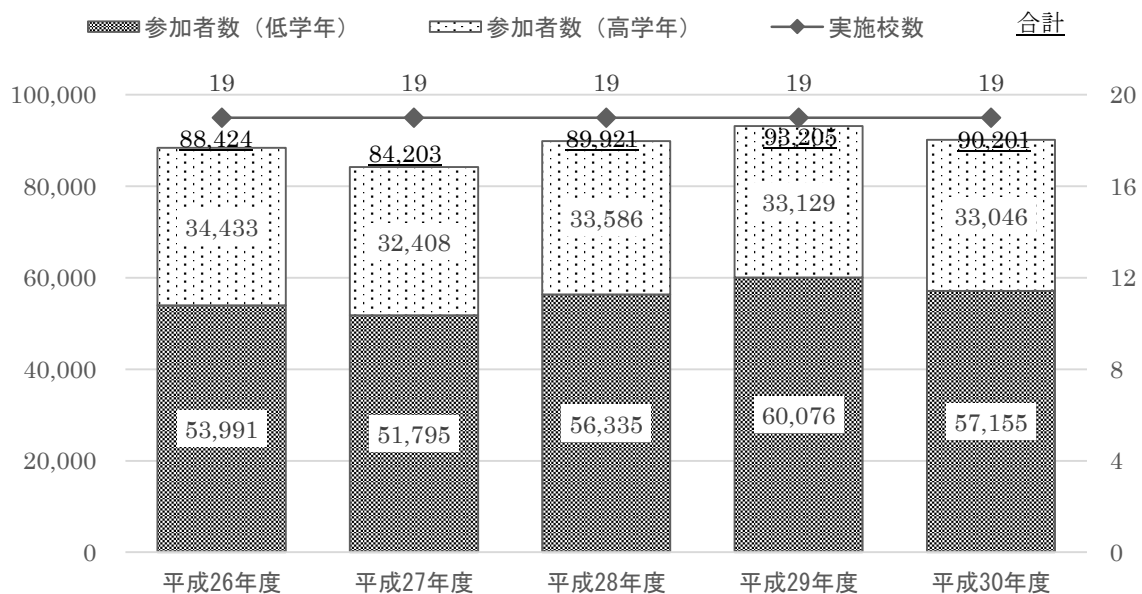


	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
クラブ数	28 か所	28 か所	30 か所	32 か所	33 か所

資料：子育て支援課(各年度4月1日現在)

⑩ 放課後子ども教室の状況

放課後子ども教室の参加者数は毎年増加傾向にあります。平成26年度から平成30年度まで、全19校で実施しています。



資料：地域学習支援課

3 ニーズ調査からみた子育て家庭の現状と課題

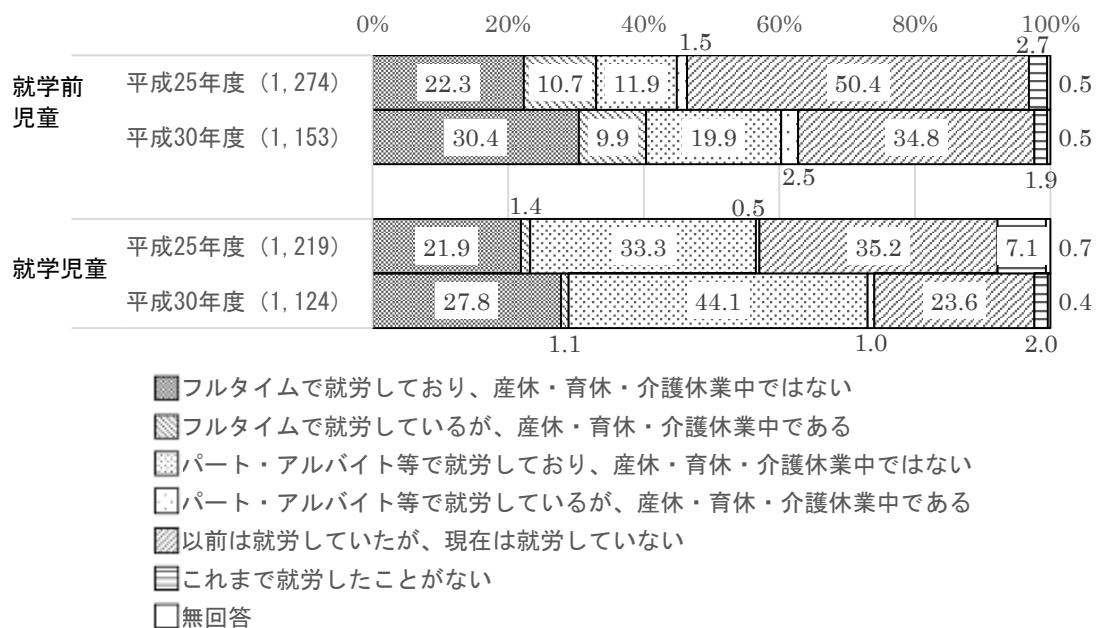
就学前児童、就学児童がいる家庭を対象に行ったニーズ調査の結果から、小平市の子どもや子育て家庭を取り巻く現状や課題がみえます。

就学前問〇……就学前児童のニーズ調査票の問〇〔設問番号〕
 就学問〇……就学児童のニーズ調査票の問〇〔設問番号〕
 表、グラフ中の「n」……各設問に対する回答者数です。
 (複)……複数回答の設問です。

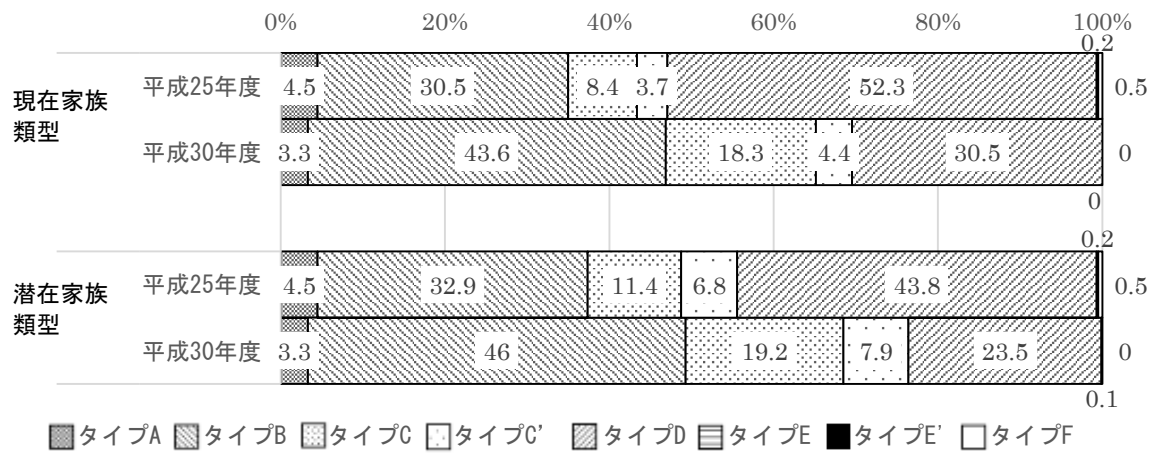
(1) 子育て家庭の家族状況・就労状況

① 就学前児童と就学児童の保護者の就労状況

(就学前問15 就学問14)母親のみ



② 就学前児童の家族類型



※平成25年度タイプE'は該当なし、平成30年度タイプE'、タイプFは該当なし

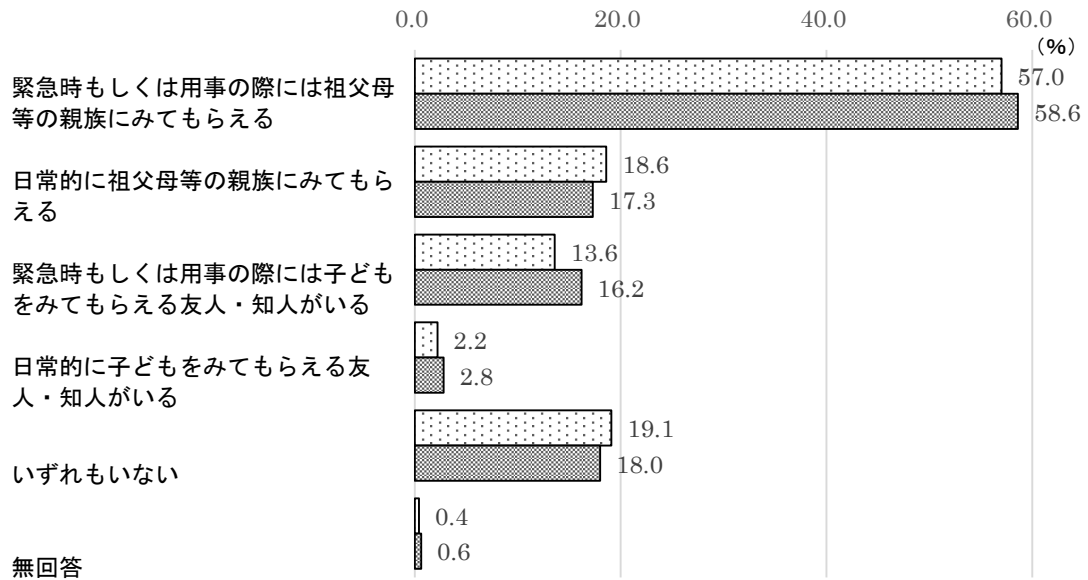
タイプ	保護者の就労等状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間※～120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム(下限時間※未満+下限時間※～120時間の一部)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パートタイム×パートタイム (双方が月120時間以上+下限時間※～120時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (いずれかが下限時間※未満+下限時間※～120時間の一部)
タイプF	無業×無業

※ 下限時間……各自治体における保育の必要性の下限時間(小平市は48時間)

(2) 子育ての環境

① 日頃子どもをみてもらえる親族・知人

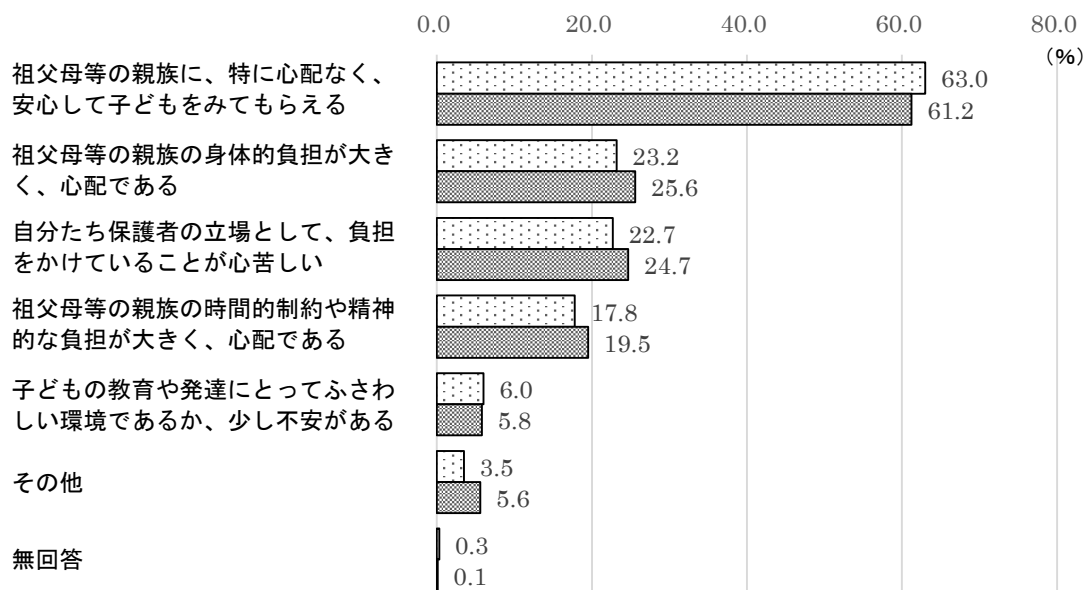
(就学前問9)



□平成25年度 n=(1,276) (複) ■平成30年度 n=(1,154) (複)

② 親族に子どもをみてもらうことについて

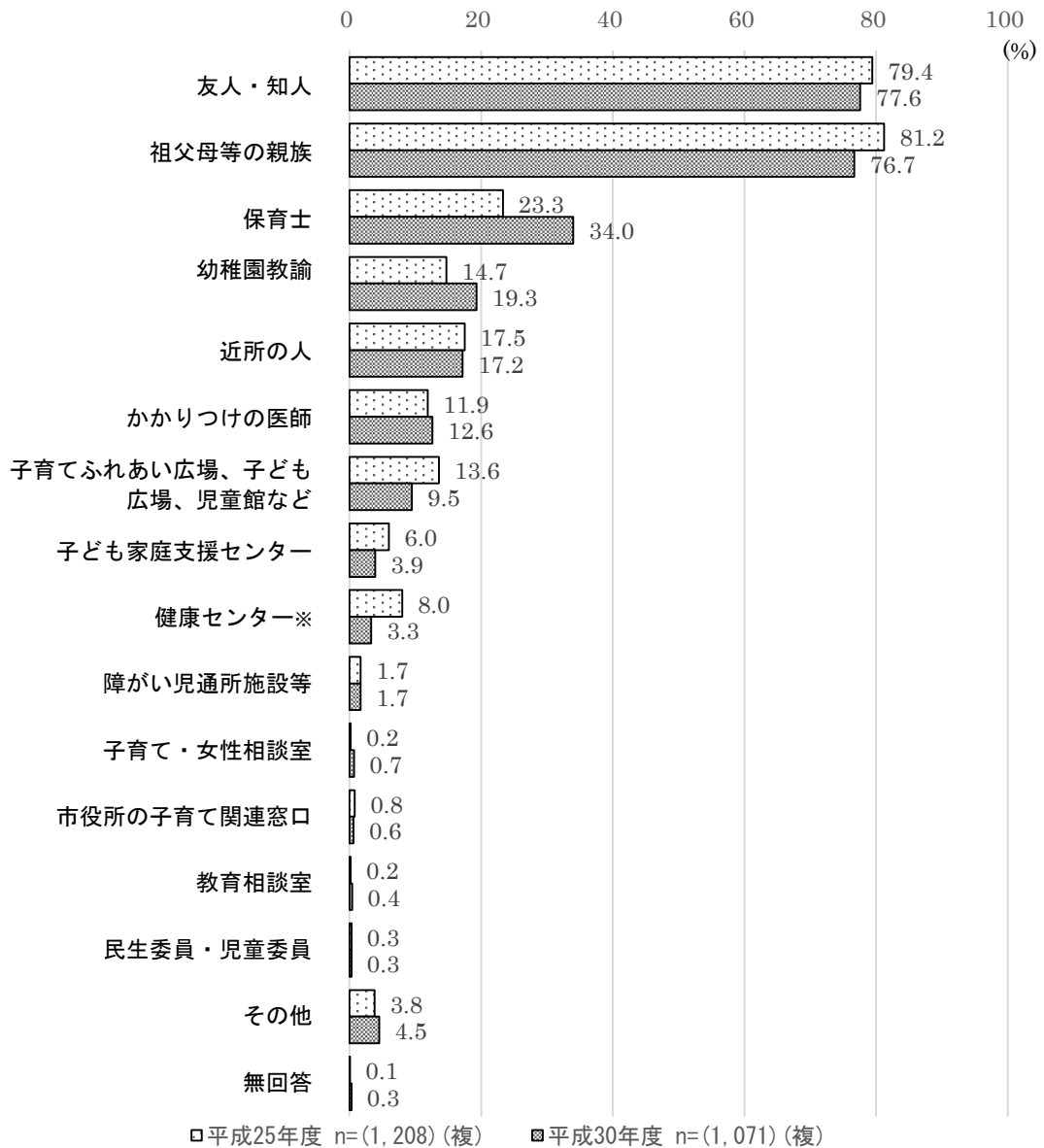
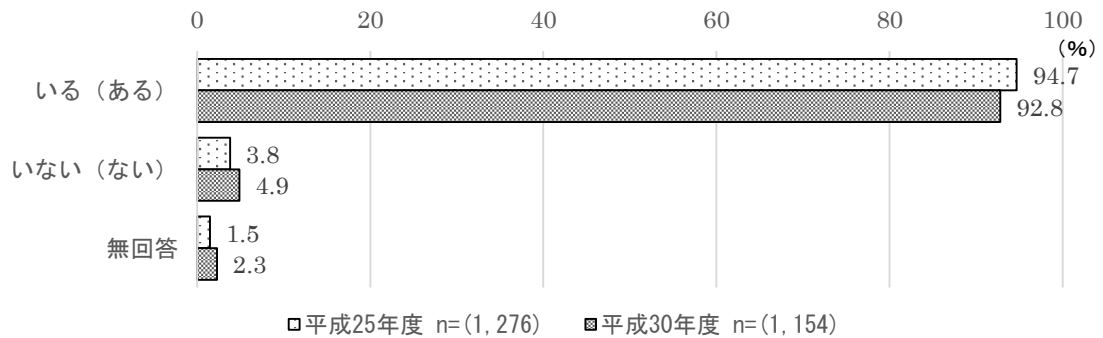
(就学前問10)



□平成25年度 n=(964) (複) ■平成30年度 n=(876) (複)

③ 気軽に相談できる人・場所の有無

(就学前問12 13)

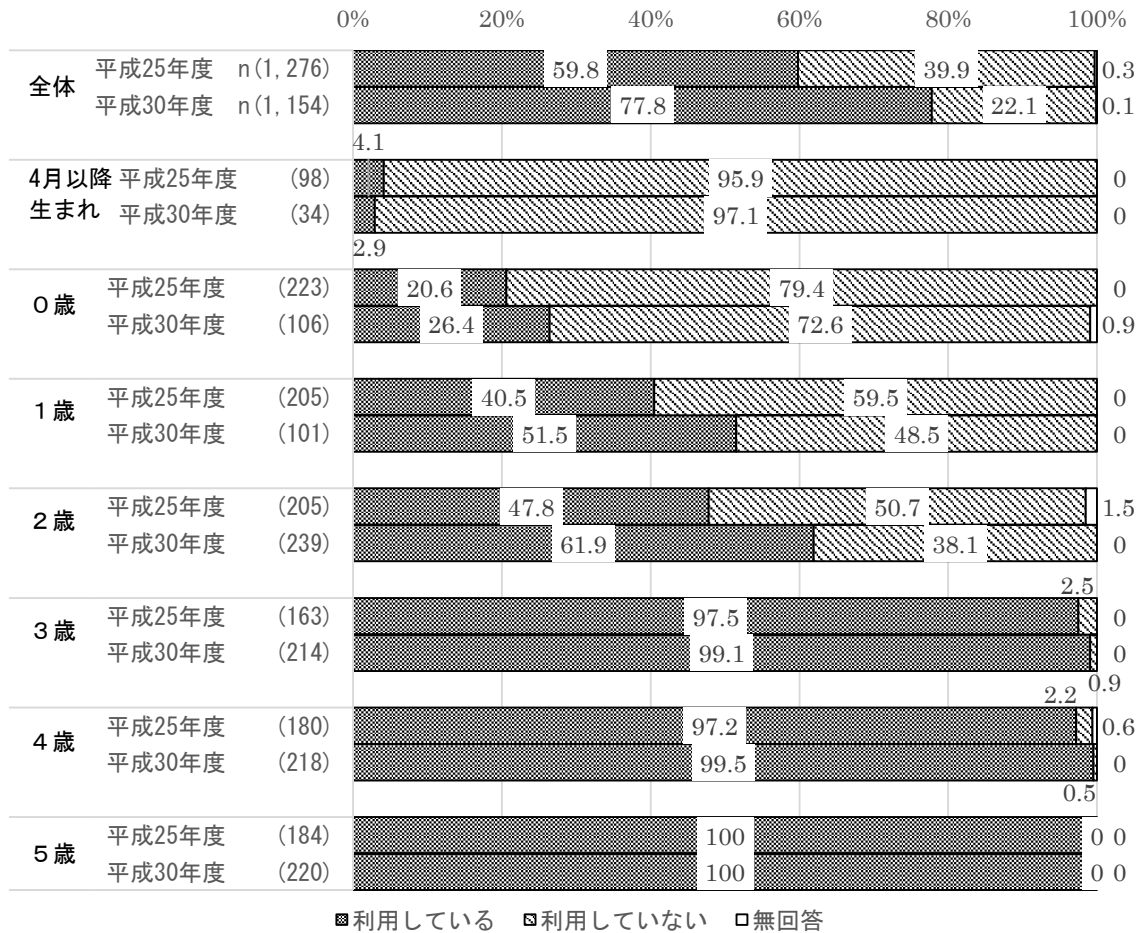


※平成25年度の項目名は 保健所・健康センター

(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望

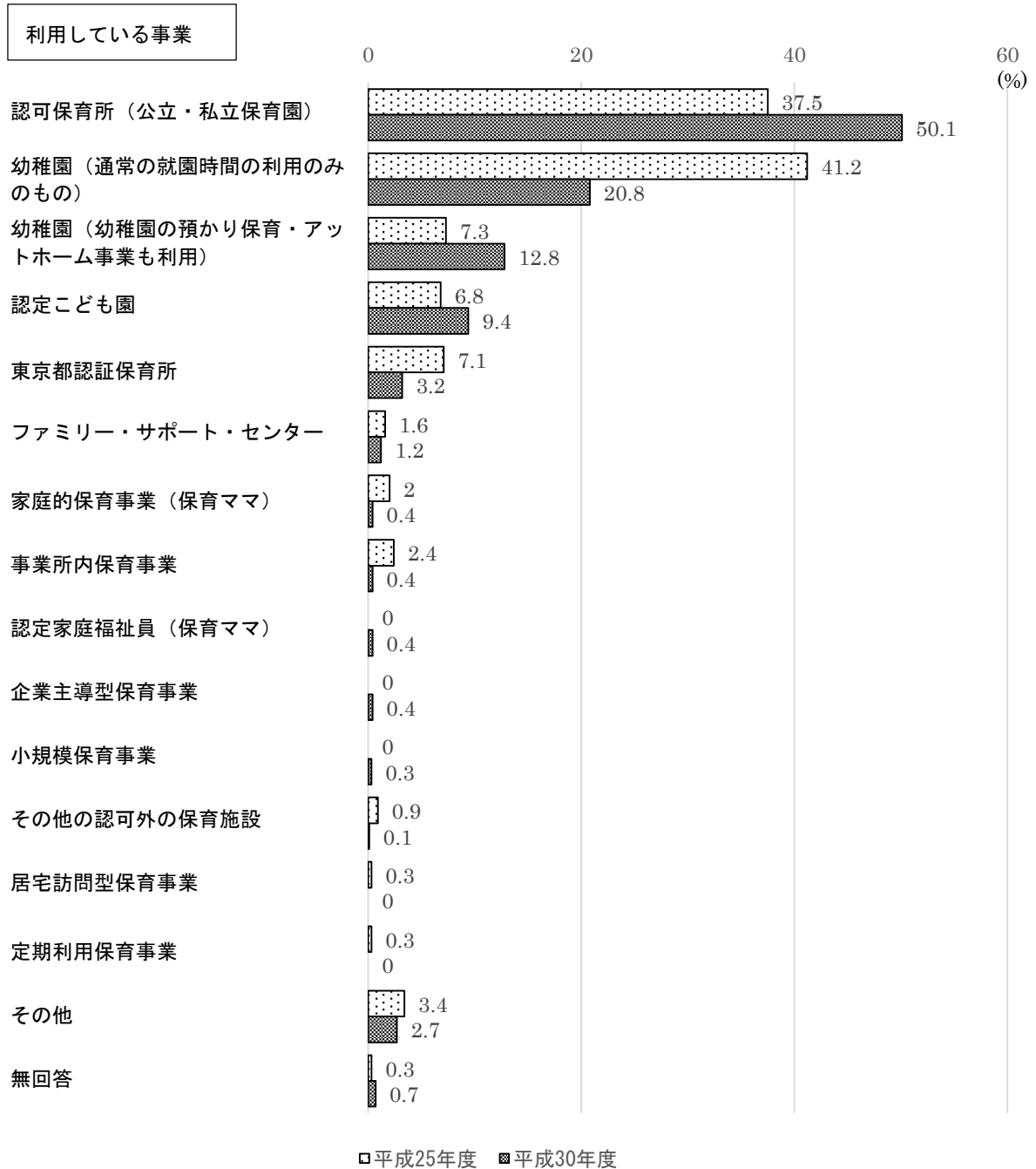
① 利用状況

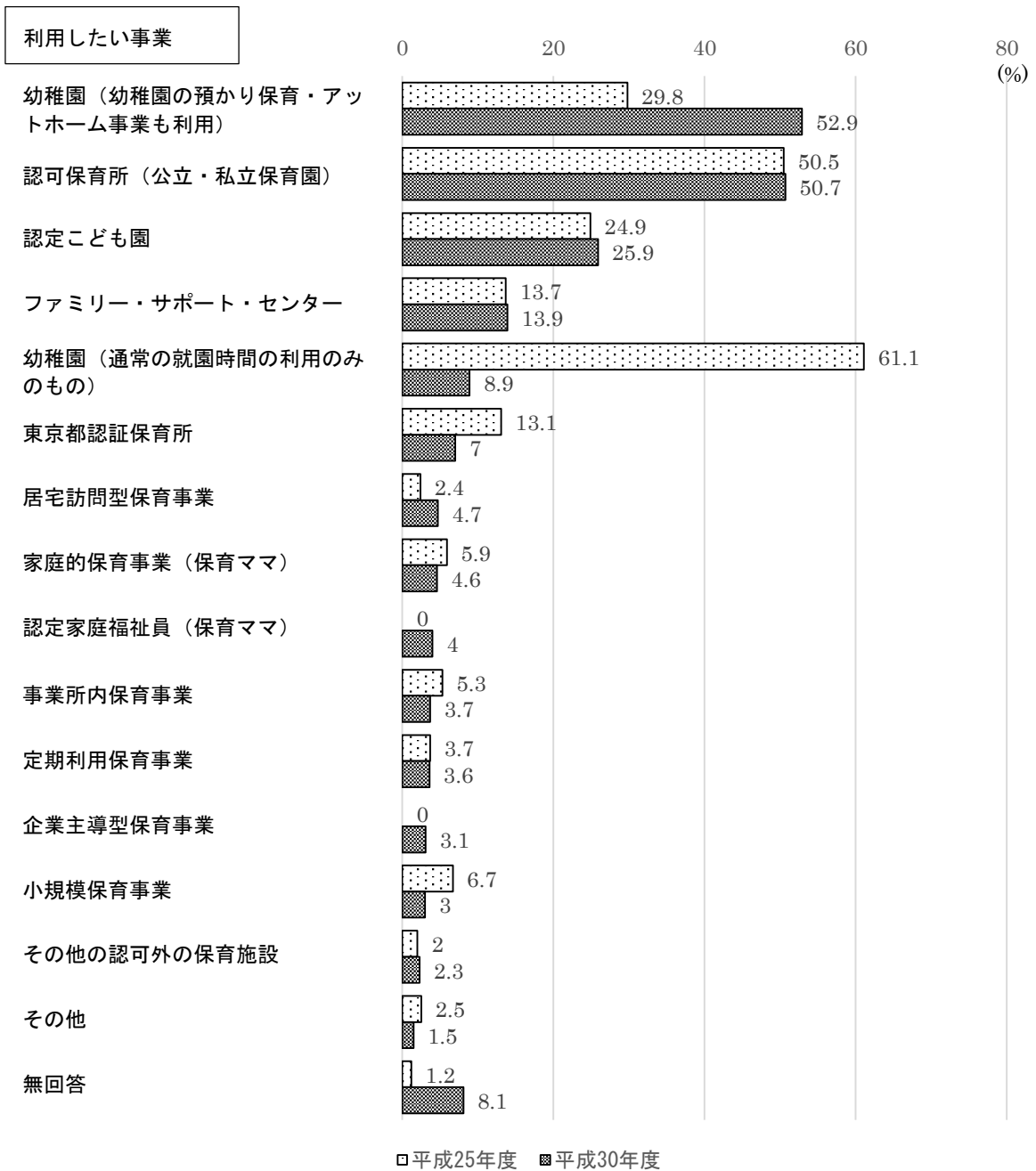
(就学前問20)



② 利用している事業と利用したい事業

(就学前問21 26)



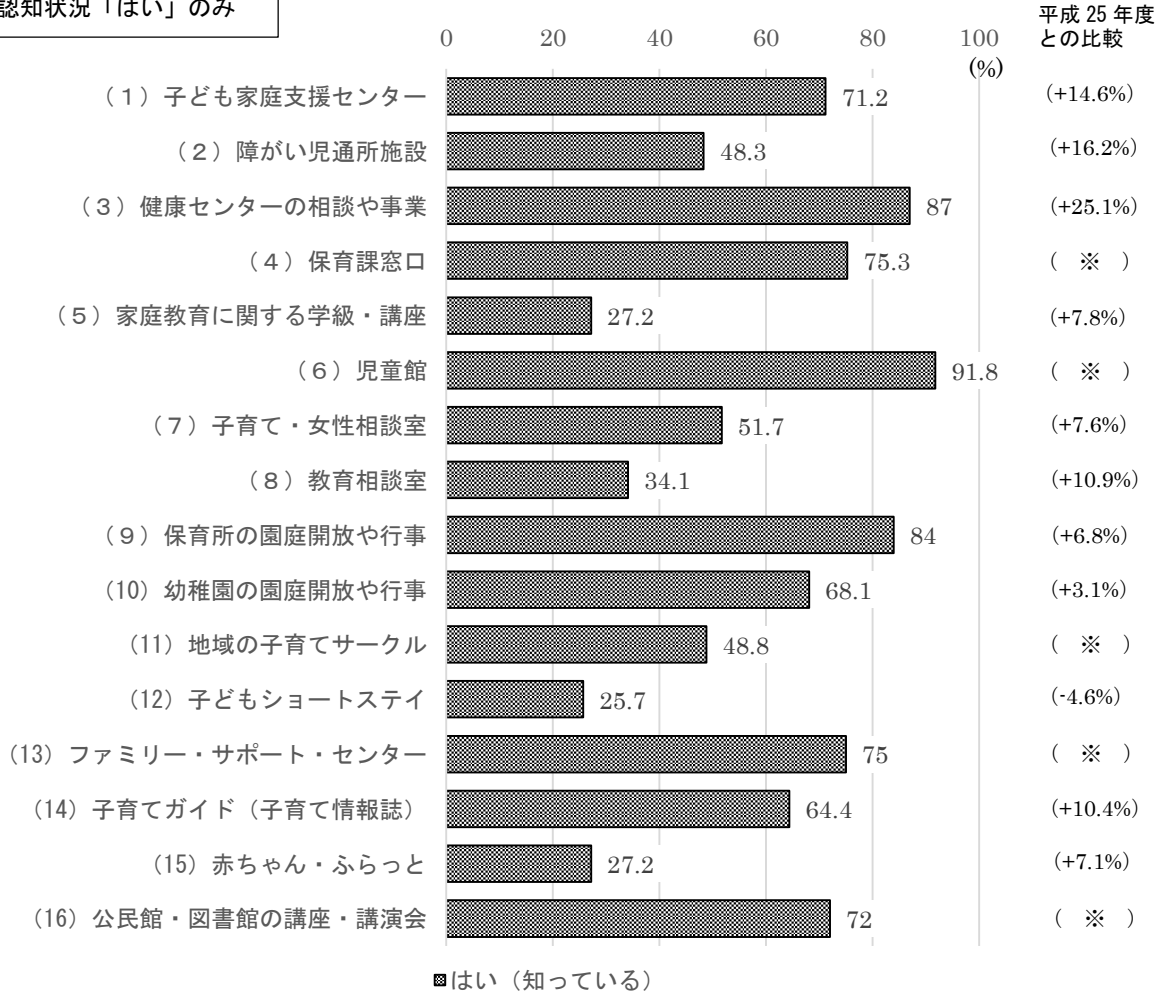


(4) 各種支援事業の認知状況・利用状況・利用希望

① 認知状況・利用状況・利用希望

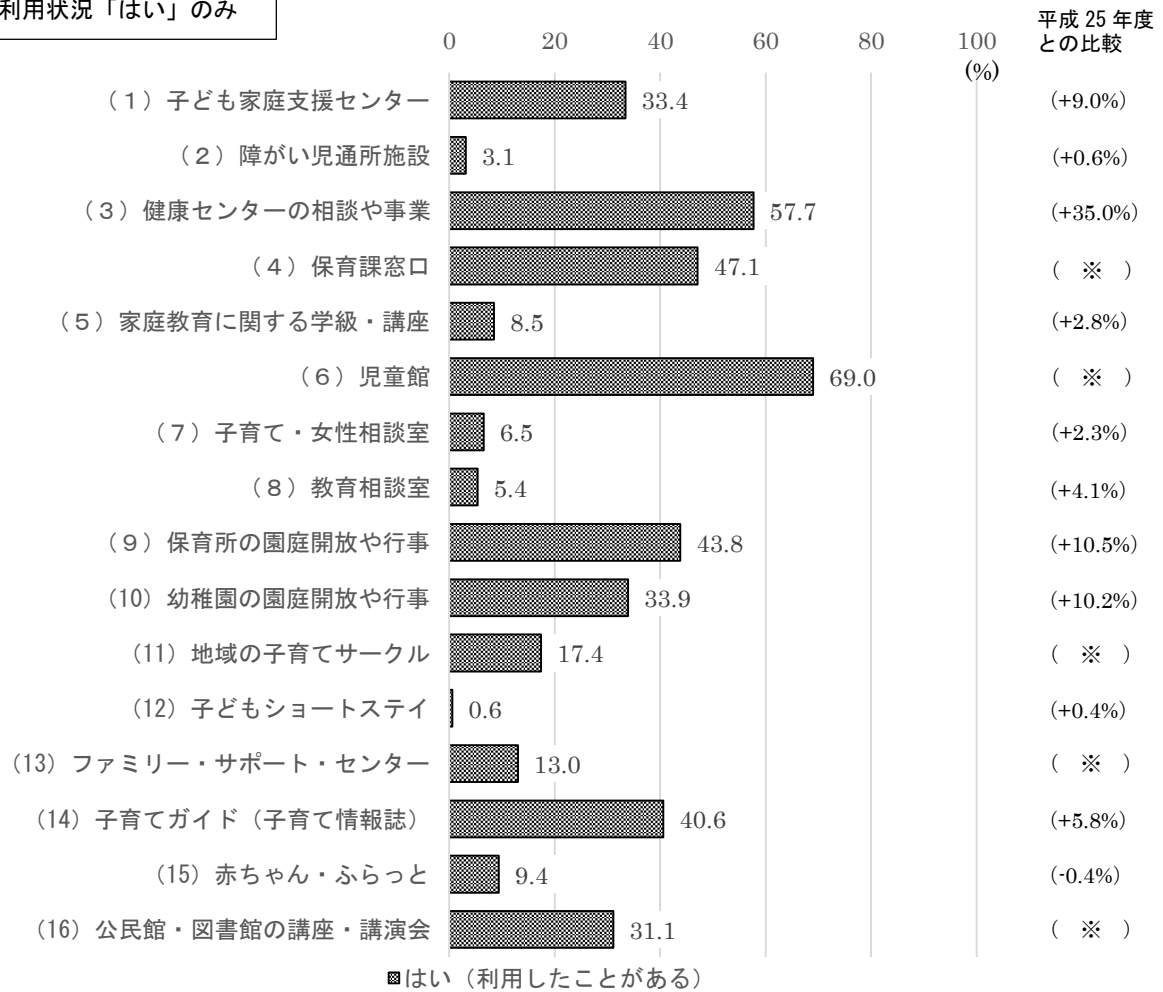
(就学前問31)

認知状況「はい」のみ



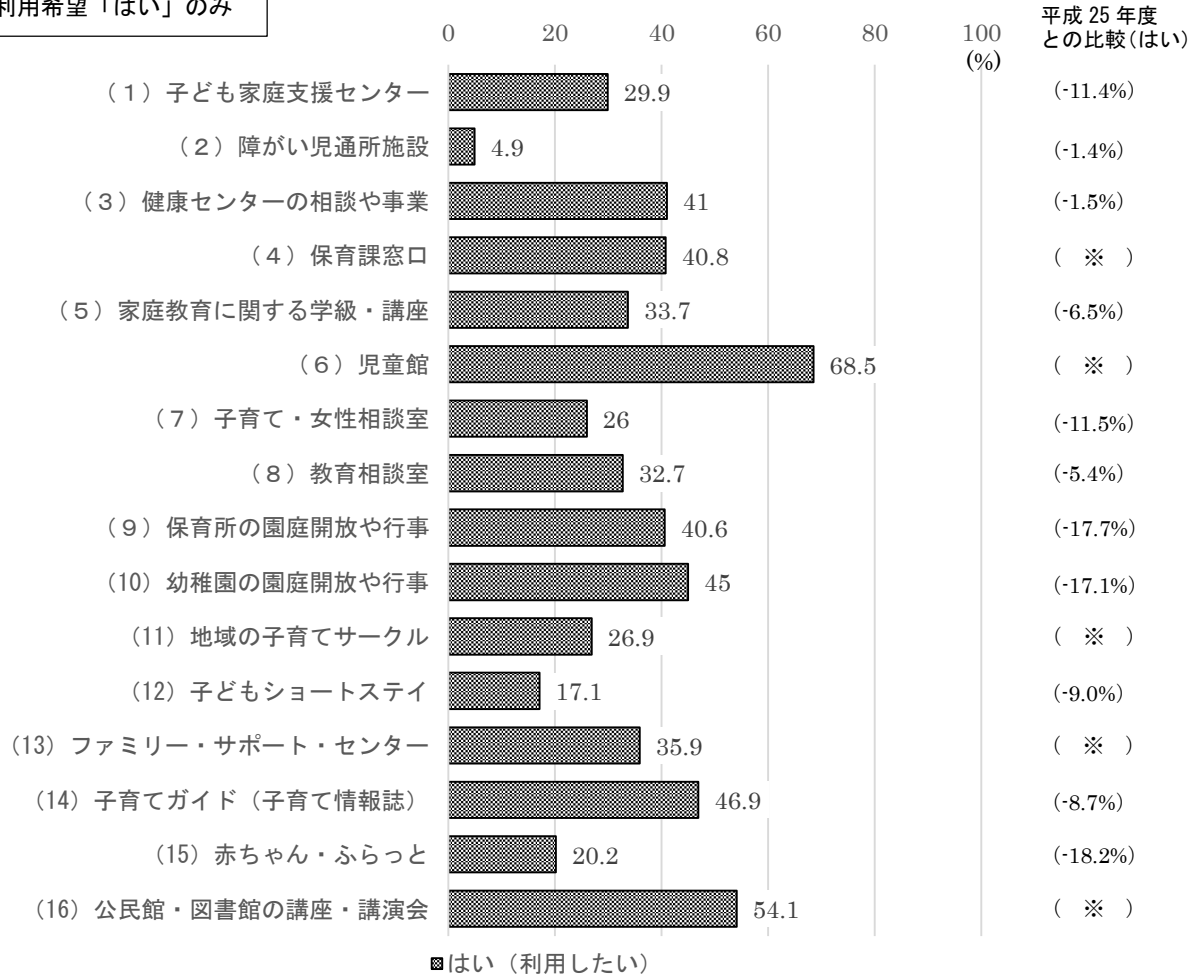
※は新規項目

利用状況「はい」のみ



※は新規項目

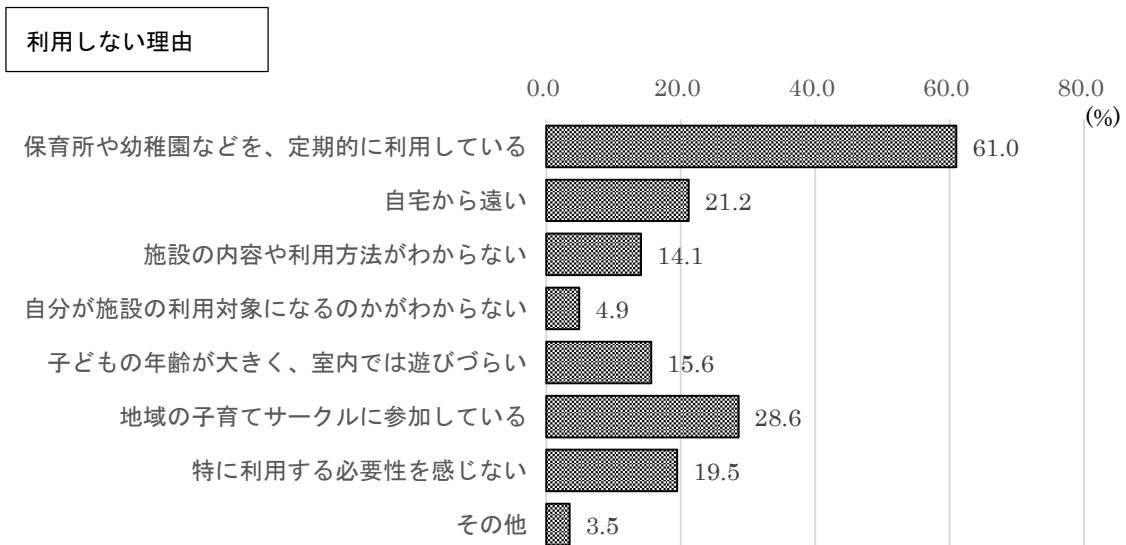
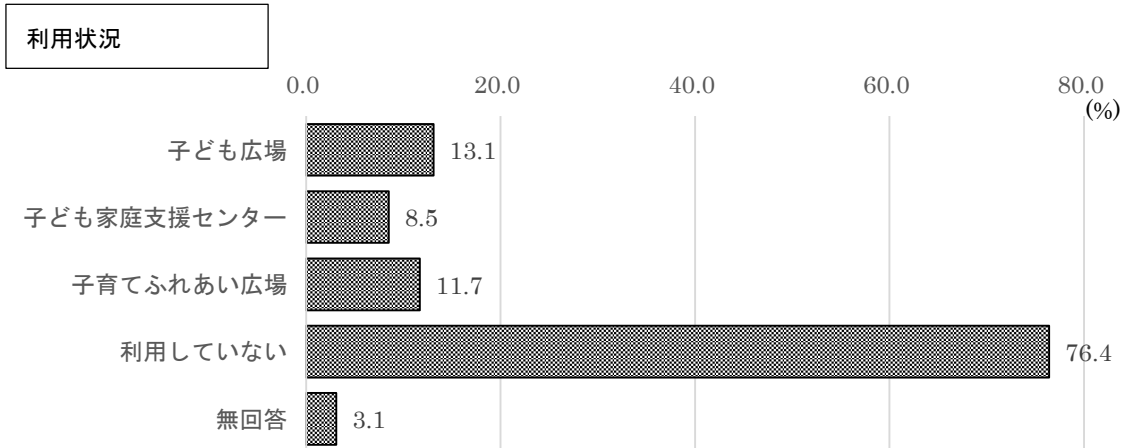
利用希望「はい」のみ



（５）地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望

① 子ども広場や子育てふれあい広場の利用状況と今後の利用希望

（就学前問29 30）

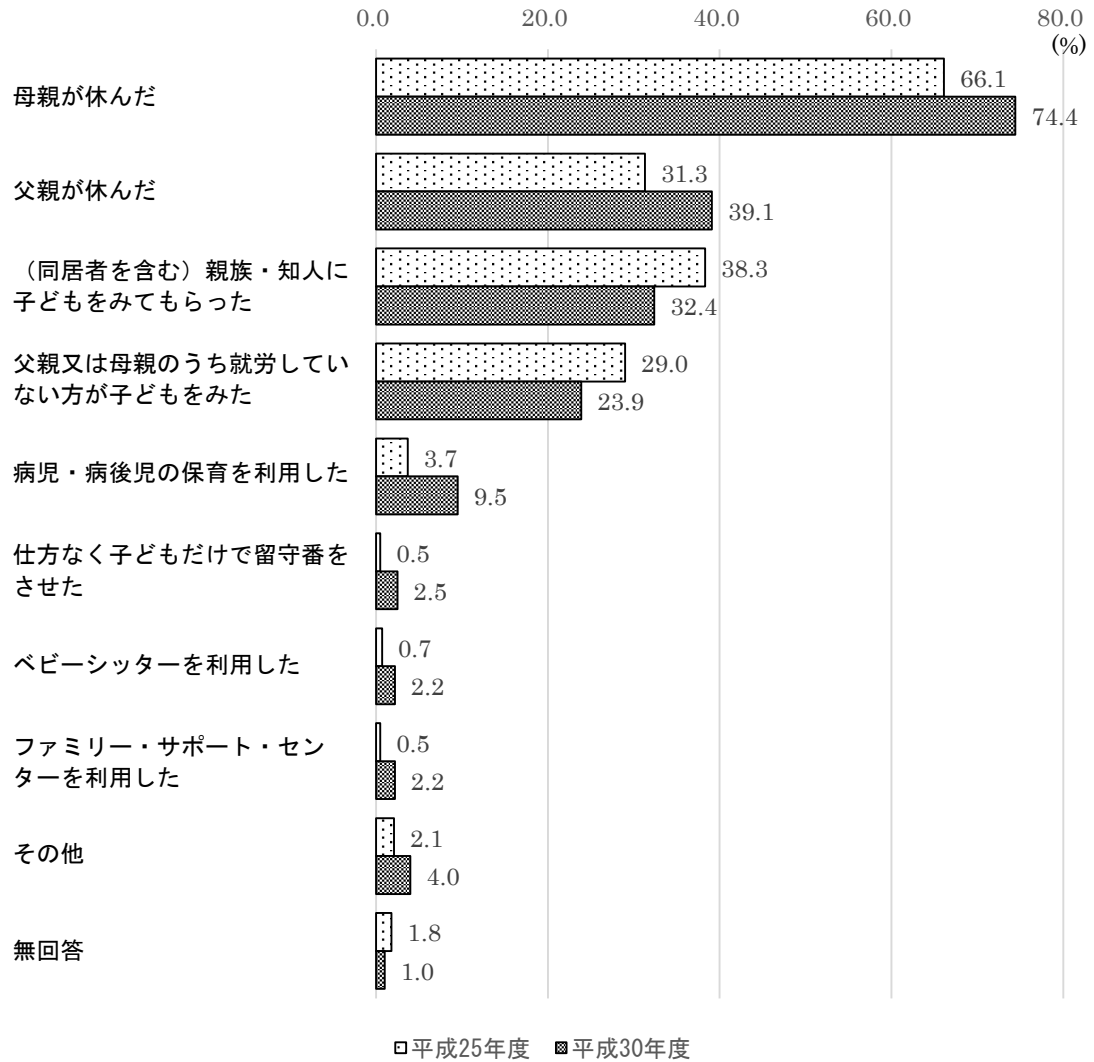


(6) 子どもの病気やケガの際の対応

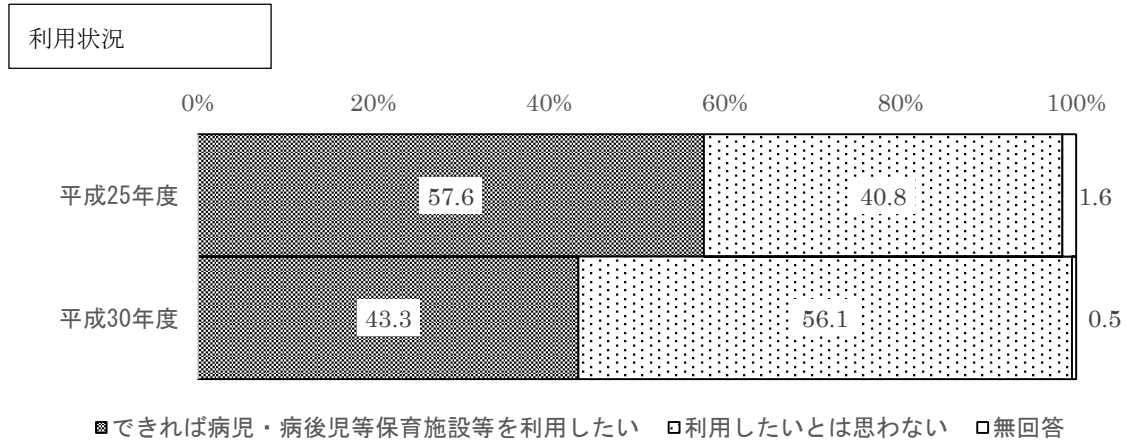
① 通常の事業が利用できなかったことの有無と対処方法

(就学前問41 42)

利用状況

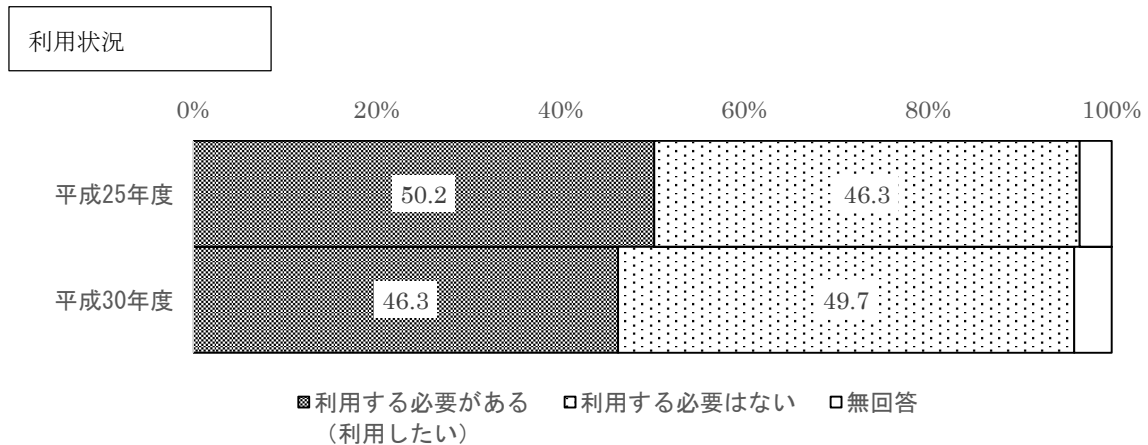


② 母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設等の利用希望
(就学前問43)



(7) 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

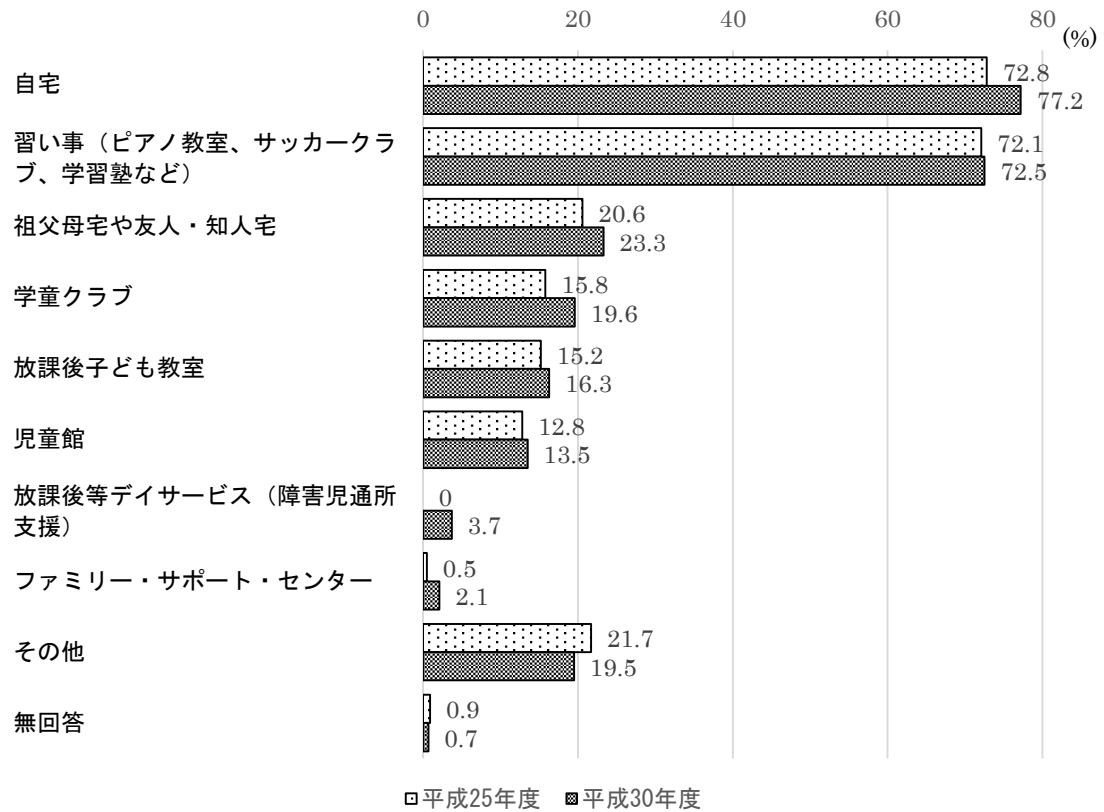
① 一時預かりの利用状況・利用希望
(就学前問50)

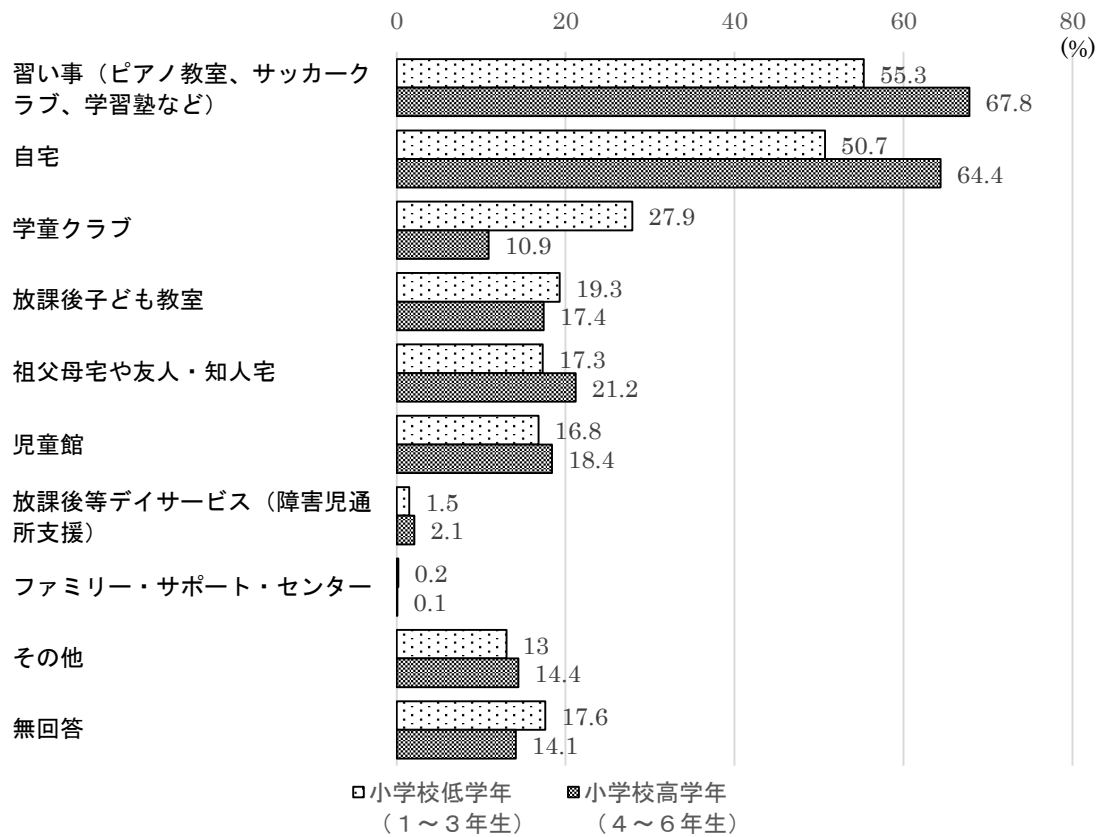


(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方

① 放課後の過ごし方と今後の過ごし方の希望

(就学問34 35)

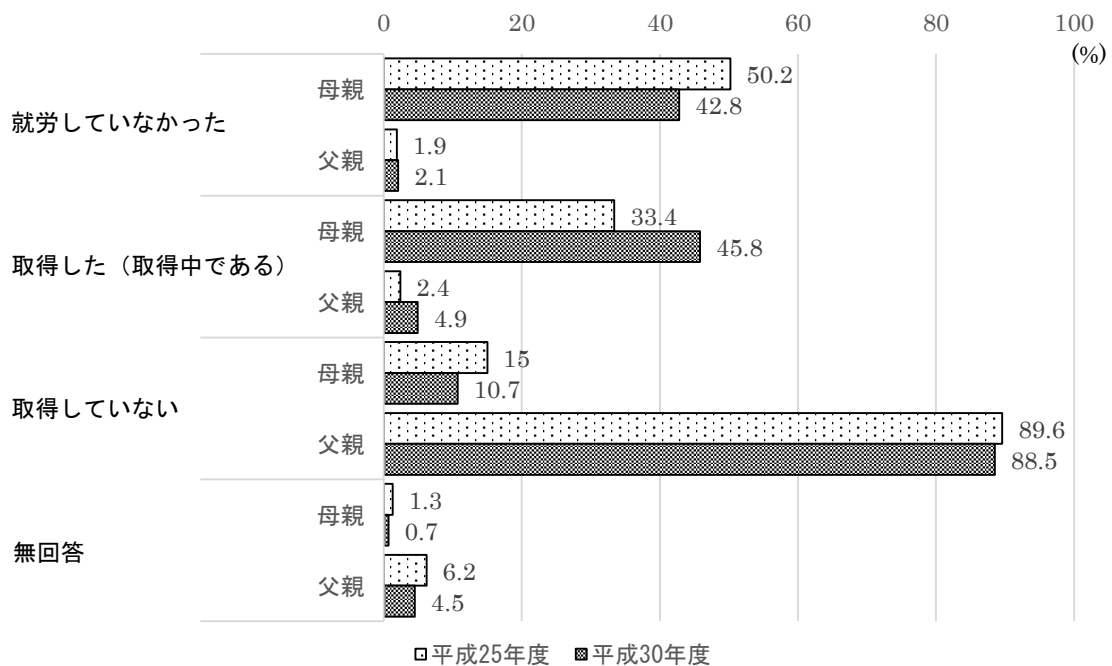




（９）職場における両立支援制度について

① 育児休業取得状況

（就学前問57）



② 育児休業を取得していない理由（H30 年度アンケート結果）

（就学前問57）

順位	母 親	父 親
1	子育てや家事に専念するため退職した 39.0%	仕事が忙しかった 36.2%
2	職場に育児休業の制度がなかった 14.6%	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 31.5%
3	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 13.8%	配偶者が育児休業を取得した 26.5%
4	仕事に戻るのが難しそうだった 9.8%	配偶者が働いていないなどの理由で、育児休業を取得する必要がなかった 25.2%
5	仕事が忙しかった 8.9%	収入源となり、経済的に苦しくなる 22.0%

※上位 5 位

（10）「仕事時間」と「家事（育児）の時間」、「プライベートの時間」のバランス

（就学問43）

